

1年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

人の基本的な心理機能について学習する  
人の心理発達について学習する

(教育目標)

今まで意識してこなかった心の動き、行動、脳機能に意識を向け、それぞれの現象について理解できることを目標とする。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	オリエンテーション 注意のしくみ	常田 つかさ	講義
2	2	記憶のしくみ	常田 つかさ	講義
3	2	学習理論とその発展	常田 つかさ	講義
4	2	感情・動機（動機づけ含む）・欲求・葛藤とは何か	常田 つかさ	講義
5	2	性格について（類型論と特性論、心理検査）	常田 つかさ	講義
6	2	社会と集団の心理①（他者をどう捉えているか・対人関係）	常田 つかさ	講義
7	2	社会と集団の心理②（集団の中の人の心）	常田 つかさ	講義
8	2	知能検査について（知能理論、ビネー式知能検査、ウェクスラー式知能検査）	常田 つかさ	講義
9	2	乳幼児・学童の発達について	常田 つかさ	講義
10	2	青年の発達について	常田 つかさ	講義
11	2	成人の発達について	常田 つかさ	講義
12	2	高齢者の発達について	常田 つかさ	講義
13	2	精神分析について（無意識、転移・逆転移、防衛機制）	常田 つかさ	講義
14	2	心理療法①（催眠療法、精神分析療法…夢分析、自由連想法）	常田 つかさ	講義
15	2	心理療法②（行動療法、認知療法、認知行動療法、内観療法、絵画療法、箱庭療法、その他）	常田 つかさ	講義

総括的評価

小テストの総点+定期試験(100点)の総合点数を100点換算して評価する。

教科書：医療系のための心理学（講談社）

参考書：随時必要な資料はプリントにて配布する

その他の資料：

担当教員から

今まで意識してこなかった心の動き、行動、脳機能に意識を向け、今までの自身の経験に当てはめることで自己理解を深めてほしい。また、自己理解から他者理解へと意識を広げ、将来医療従事者として対象者に向き合う場面に生かして欲しい。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 前期（1 単位：30 時間）

(授業概要)

実習先や実際の職場では、挨拶・返事・相手を尊重した言葉遣い、動作、きちんとした立ち居振る舞いが信頼される要素となる。また専門知識はもちろん、現場ではコミュニケーション能力が重要視される。そのような社会人としての基本を身に付ける。さらに、語彙や表現方法に注意しながら、目的に合った文章を書いてみる。また、「文章読解・作成能力検定」3 級に合格することを目指す。

(教育目標)

- 1 社会人として知っておきたい基本的な敬語、漢字、ことわざ等を学ぶ
- 2 文章を読んで筆者の言いたいことを理解する・・・相手の気持ちを汲み取る
- 3 相手に伝わる意見文を書く・・・自分の言いたいことを客観的にきちんと伝える

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	授業オリエン、なぜ国語力が必要か？、T.P.Oに合わせた自己紹介、語彙ドリル	大橋 晶子	講義
2	2	語彙ドリル、『ステップ』第一章 語彙・文法（意味・用法）	大橋 晶子	講義
3	2	語彙テスト、『ステップ』第一章 語彙・文法（文法）	大橋 晶子	講義
4	2	語彙ドリル、『ステップ』第二章 資料分析（グラフ・表の読みとり）	大橋 晶子	講義
5	2	語彙ドリル、『ステップ』第二章 資料分析（分析の注意点）	大橋 晶子	講義
6	2	語彙テスト、『ステップ』第三章 文章読解（指示語等、段落）	大橋 晶子	講義
7	2	語彙ドリル、『ステップ』第三章 文章読解（構成、要旨）	大橋 晶子	講義
8	2	語彙ドリル、『ステップ』第四章 手紙文（手紙の知識、敬語）	大橋 晶子	演習
9	2	語彙テスト、『ステップ』第四章 手紙文（適切な表現、推敲）	大橋 晶子	演習
10	2	語彙ドリル、『ステップ』第五章 意見文（事実・意見・感想、意見文の構成）	大橋 晶子	演習
11	2	語彙ドリル、『ステップ』第五章 意見文（理由の述べ方のポイント、意見文作成）	大橋 晶子	演習
12	2	語彙テスト、『ステップ』第五章 意見文（解説、書き直し、清書）	大橋 晶子	演習
13	2	語彙ドリル、『ステップ』まとめ問題	大橋 晶子	演習
14	2	語彙ドリル、文章検 3 級過去問題（実施）	大橋 晶子	演習
15	2	語彙テスト、文章検 3 級過去問題（解説、意見文清書）	大橋 晶子	演習

総括的評価

小テスト（20%）、提出物（10%）、定期試験（70%）による評価、定期試験の受験要件、実地方法などはカリキュラムガイダンスを参照

教科書：『基礎から学べる！文章カステップ文章検 3 級対応』（公益財団法人日本漢字能力検定協会）※授業で使用。

参考書：必要に応じて提示

その他の資料：

担当教員から

読解力は相手の言わんとすることを汲み取ることに、また文章力は自分の言いたいことを相手に伝えることにつながります。医療現場ではコミュニケーション能力が必要だということを認識し、信頼される医療人となるべく国語力を高めて欲しいです。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 前期（ 1 単位：30 時間）

(授業概要)

私たちが生きている現代社会の実情をいろいろな角度から見つめ直し、正しいものの見方・考え方を探求する。

(教育目標)

「哲学する」ことの意味、私たちの知識、人間のとらえ方、社会で生じている(とくに医療、環境)問題を検討し、今後の生き方についての土台形成をめざす。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	私たちはどうして「哲学する」のか(はじめに)	永谷 敏之	講義
2	2	「それってあなたの感想ですよね」?(第1章)	永谷 敏之	講義
3	2	「モノ」を通じて人や世界と関わる(第2章)	永谷 敏之	講義
4	2	「コスパ」「タイパ」って疲れませんか?(第3・4章)	永谷 敏之	講義
5	2	「役に立つ」ってどういうこと?(第3・4章)	永谷 敏之	講義
6	2	私たちは命の価値を決めることができるか?(第4章)	永谷 敏之	講義
7	2	語りえぬこと・語りえること(第5章)	永谷 敏之	講義
8	2	経験vs合理性(第5章)	永谷 敏之	講義
9	2	偶然vs必然(第6章)	永谷 敏之	講義
10	2	思考の出発点はどこにある?(第8章)	永谷 敏之	講義
11	2	何のためにケアするの?(第8章)	永谷 敏之	講義
12	2	社会は何のためにある?(第8章)	永谷 敏之	講義
13	2	「エビデンス」は本当にいらない?	永谷 敏之	講義
14	2	『心の傷をいらすということ』	永谷 敏之	講義
15	2	まとめ	永谷 敏之	講義

総括的評価

毎回の感想文と終講後の定期試験(筆記試験)に評価します。定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを

教科書： 「客観性の落とし穴」村上 靖彦著(筑摩書房)

参考書： 授業の中で紹介する

その他の資料： 授業中、必要な資料を配布する

担当教員から

私たちの周りにある出来事や現実をよく見すえながら、今日の社会の中でどう判断し、どう行動し、どう生きていったらよいかについて、じっくり考える機会にしよう。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 前期（1 単位：3 0 時間）

（授業概要）

①社会福祉に必要な基礎知識を学ぶことをねらいとし、わが国における人口の高齢化の背景やその特徴、地域福祉や生活保護、高齢者虐待、権後見制度等を多面的に学び、高齢者や障害者等が生活する「現代社会」について理解し、そのうえで、生活状況の実際や生活の中から生まれてくる福祉ニーズとはどのようなものなのかについて理解する。  
 ②社会福祉の理念や意義について理解させ、社会福祉の歴史、制度や法体制、社会福祉サービスの役割と活動、社会福祉専門職の役割について理解させる。また、現在の社会福祉の動向と問題、これからの課題を理解させる。利用者を中心に各専門職での連携の意義や必要性について理解する。

（教育目標）

①社会福祉に関する基礎知識について理解し、福祉専門職と連携していく視点を意識していく。また、介護保険制度や地域包括支援センター、権利擁護についての理解や地域福祉を始め保健・医療・福祉における連携について理解する。更に、社会福祉における現代社会の課題を理解し、社会福祉とリハビリテーションとのつながりを考える。  
 ②社会福祉学の概念・対象・分野について学び、各専門職の現状・課題について理解したうえで、連携のあり方について学習する。その上で保健医療福祉の公的介護保険制度、障害者自立支援法等の福祉関係制度、法規、保健・医療制度、社会保険制度を含めた社会保障を学ぶ。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	社会福祉学の概観と平均寿命、高齢化、健康寿命、要介護高齢者の推移	重久 晃一	講義
2	2	高齢者をとりまく社会環境の変化と介護保険制度の誕生	重久 晃一	講義
3	2	介護保険制度とは、目的、特徴、課題	重久 晃一	講義
4	2	介護保険制度について（利用の流れ、サービス事業者、職種等事例含む）	重久 晃一	講義
5	2	孤独死や悪徳商法、地域包括支援センターの概要、役割や課題、事例含む	重久 晃一	講義
6	2	介護予防、地域包括ケアシステムについて、地域福祉の担い手（ボランティアやNPO等、事例含む）	重久 晃一	講義
7	2	権利擁護とは、日常生活自立支援事業（事例含む）、成年後見制度（事例含む）	重久 晃一	講義
8	2	高齢者虐待防止法（概要や現状、課題、事例含む）、生活保護制度（原理・原則、保護の種類）	重久 晃一	講義
9	2	「現代社会と社会福祉」・社会福祉制度の成立と社会福祉サービスを理解する。	重久 晃一	講義
10	2	「医療保険と年金制度」・医療保険と諸年金制度の背景と成立を理解する。	重久 晃一	講義
11	2	「児童家庭福祉の現状と及び課題」・児童家庭福祉の理念と家族の現状を考える。	重久 晃一	講義
12	2	「障がい者福祉サービスの現状と課題」・障害の考え方と国際的な流れを理解する。	重久 晃一	講義
13	2	「地域福祉サービスの現状と課題」・地域社会と福祉サービスの結びつきを考える。	重久 晃一	講義
14	2	「保健・医療・福祉サービス」・健康増進や疾病予防のための様々な公的サービスについて考える。	重久 晃一	講義
15	2	「社会福祉の課題と動向」・社会福祉基礎構造改革の背景について学び今後の福祉制度を考える。	重久 晃一	講義

総括的評価

定期(前期)試験にて行う。試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：専門基礎分野 系統看護学講座「社会保障・社会福祉-健康支援と社会保障精度3」 医学書院

参考書：

その他の資料：  
 社会福祉関連した新聞記事等

担当教員から

①実践の場で提供されている多職種連携について理解を深めること。また、普段から新聞やテレビのニュース等を通して社会福祉やそこで起きている問題などに関心を持ってもらいたい。②国試対策にも考慮した授業内容に心がけますが、自分なりに予習復習をして、授業に臨んでください。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期 ( 1単位： 30時間)

(授業概要)

「教育」とは、「人間」とはという根本的な問いから始まり、改めて教育・学びの意味を再確認することで、今後の自分の在り方、勉強に対する姿勢を見直す。また、現在学校が抱えている課題や、国際化・多文化共生という視点からも教育の意義を考えていく。

(到達目標)

人間が生きていく上での「教育」の意義について再認識し、理解を深める。また、国際化が進む中で、多文化共生を目指す社会における「教育」の在り方を考える。さらに、医療現場における学び・人間関係・教育の在り方についても改めて考える。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	ガイダンス	山下 みどり	講義
2	2	よい教育ってどんな教育	山下 みどり	講義
3	2	教育を社会の視点から考えてみよう	山下 みどり	講義
4	2	子どもという存在／人間という存在	山下 みどり	講義
5	2	教え方は試行錯誤されてきた	山下 みどり	講義
6	2	教育を受ける権利	山下 みどり	講義
7	2	子どもの学びを支える仕組み	山下 みどり	講義
8	2	子どものための学校ってどんな学校？	山下 みどり	講義
9	2	学校では何を学ぶの？	山下 みどり	講義
10	2	よい先生ってどんな先生？	山下 みどり	講義
11	2	どんなふうに子どもに接したらよいのか？	山下 みどり	講義
12	2	子どもがよく学ぶためには？	山下 みどり	講義
13	2	学校を卒業したら学ばなくてもよいのか？	山下 みどり	講義
14	2	教育と学校の未来はどうなるの？	山下 みどり	講義
15	2	まとめ	山下 みどり	講義

総括的評価

各授業で配布するプリント提出と授業態度 (50%)、定期 (筆記) 試験による評価 (50%)  
定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照

教科書： 特になし。授業中にプリント配布。

参考書：

その他の資料：授業で適宜配布する。

担当教員から

教育も医療も人と人との関わりの中で成立しているものと言える。教えるということだけが教育ではなく、学び合うことこそ教育の原理であり、学校という枠の中だけで行われるものを指すのではない。人は一生学び続ける生き物であり、だからこそ成長し喜怒哀楽という感情を備え、常に発達し続けるものである。学ぶ喜び、教育の大切さを再認識できる場になればと考える。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

医療専門職として身につけるべき職業意識を育成し、理学療法学の基礎を形成する理論や理学療法を実施していく上で必要な知識の習得を促す。

(到達目標)

医学における基礎領域の科学である「生物学」を学ぶことは、学生にとって広い視野を持ち、自立した専門家となるために不可欠な基礎能力を高めることであるといえる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	生物学の概念と全体像をつかむために	立石 洋	講義
2	2	生命体のつくりとはたらき（生物学における構造と機能について）	立石 洋	講義
3	2	生体維持のエネルギー（生物内の化学反応について）	立石 洋	講義
4	2	細胞の増殖とからだのなりたち（細胞分裂・細胞の分化・細胞の老化）	立石 洋	講義
5	2	遺伝情報とその伝達・発達のしくみ（遺伝の法則と染色体）	立石 洋	講義
6	2	生殖と発生（無性生殖と有性生殖）1	立石 洋	講義
7	2	生殖と発生（無性生殖と有性生殖）2	立石 洋	講義
8	2	個体の調節（ホメオスタシス・各器官系のはたらきについて）1	立石 洋	講義
9	2	個体の調節（ホメオスタシス・各器官系のはたらきについて）2	立石 洋	講義
10	2	刺激の受容と行動（神経系における情報処理の特徴）1	立石 洋	講義
11	2	刺激の受容と行動（神経系における情報処理の特徴）2	立石 洋	講義
12	2	生命の進化と多様性（進化のしくみについて）1	立石 洋	講義
13	2	生命の進化と多様性（進化のしくみについて）2	立石 洋	講義
14	2	生物と環境のかかわり（生物の集団・生態系の経済について）1	立石 洋	講義
15	2	生物と環境のかかわり（生物の集団・生態系の経済について）2	立石 洋	講義

総括的評価

終講後に筆記試験を実施し合格者には単位を認定する。  
試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：医学書院 系統看護講座 基礎分野 生物学

参考書：随時、必要な資料はプリントして配布する。

その他の資料：

担当教員から

生物学は「生物」に関する知識を集大成した学問分野です。また、生物を学ぶことで、生理学や解剖学にも通じるところが多々あるため、その他の学習事項の理解が進むことを願っています。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

ニュートン力学について、いろいろな法則や仕組みについて学び、関節にみられるてこやモーメントの仕組みについて学ぶ。ここで学ぶ「力学」とは、重力が存在する地上において、ヒトが動作（運動）を行う際にどのように「力」が作用しているかを考える学問である。「バイオメカニクス」という言葉が最終的にどのようなものか理解し、説明できるようになるために講義を展開する。

(到達目標)

ニュートン力学やこの原理を理解し、理学療法作業療法の治療に応用できるようになる。また、理学療法国家試験や作業療法国家試験の物理分野の問題は解けるようになる。具体的には、①身体の運動を記述する基本的な方法を把握する。②身体運動と作用する力との基本的な関係を理解する。③力が与える作用を、量的な表現である仕事やエネルギーなどの概念を用いて説明できる。④関節運動を回転運動としてとらえ、その作用を説明できる。これらを到達目標とする。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	総論 古典物理学と現代物理学、ニュートン力学と運動の法則	立石 洋	講義
2	2	第1章 運動の表し方：物理学で使用される単位と数学（三平方の定理、三角関数）	立石 洋	講義
3	2	第2章 身体運動と力：力の合成と分解	立石 洋	講義
4	2	第2章 身体運動と力：力の合成と分解、運動の3法則、さまざまな力	立石 洋	講義
5	2	第3章 力のつり合いと回転運動：並進運動と回転運動、モーメントとてこ	立石 洋	講義
6	2	第3章 力のつり合いと回転運動：物体の重心と重心の求め方	立石 洋	講義
7	2	力学問題復習	立石 洋	講義
8	2	力学問題復習	立石 洋	講義
9	2	第4章 物体の安定性と不安定性：支持基底面	立石 洋	講義
10	2	第4章 物体の安定性と不安定性：床反力と床反力作用点（COP）	立石 洋	講義
11	2	第5章 エネルギーと運動	立石 洋	講義
12	2	第6章 熱力学（熱の発生、熱量、比熱、熱と仕事、熱機関）	立石 洋	講義
13	2	第7章 波動力学（振動と波、波長、周波数、音と光、電流と磁場）	立石 洋	講義
14	2	第8章 電気の性質と利用	立石 洋	講義
15	2	第9章 磁気の性質と利用	立石 洋	講義

総括的評価

筆記試験にて60点以上で単位取得とします。

教科書：PTOT臨床につながる物理学（羊土社）

参考書：

その他の資料：必要に応じてプリントを配ります。

担当教員から

物理はわかりにくい部分もありますが、身の回りで起こっている事象や身体の運動に関わる物理現象を理解することで、理学療法士、作業療法士の業務に関係する治療機器の仕組みや運動のメカニズムとそれが障害された際に出現する症状とその治療を理解しやすくなると思います。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

令和3年度から導入したiPadでの電子版教科書の使い方や、iPadでのレポート作成およびSNS利用上の注意点などを学ぶ。

(教育目標)

1 統計学がどのような場面で使われているかを学ぶ。 2 散らばりとしての尺度「分散」を理解する。3 ヒストグラムから正規分布を理解させる4 z表の見方を学ぶ。 5 推測されたデータの信頼度の判定法を学ぶ。 6 対立仮説と帰無仮説を学び、立てた仮説の検証方法を学ぶ。  
7 2値データのアンケート解析でよく使用されるカイ二乗検定について学ぶ。8 実際に得られたデータがその後どのような軌跡を描くかを予想する方法「最小二乗法」を学ぶ。9 2つの事柄の関係を数値で表す「相関係数」について学ぶ。10 まとめ

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	iPadの電子版教科書のインストールおよび使用方法	黒木 辰朗	講義
2	2	ワードの基本1	黒木 辰朗	講義
3	2	ワードの基本2	黒木 辰朗	演習
4	2	ワードの基本3	黒木 辰朗	演習
5	2	エクセルの基本 1	黒木 辰朗	講義
6	2	エクセルの基本 2	黒木 辰朗	演習
7	2	エクセルの基本 3	黒木 辰朗	演習
8	2	パワーポイントの基本	黒木 辰朗	演習
9	2	SNSの利用について	黒木 辰朗	講義
10	2	まとめ	黒木 辰朗	講義

総括的評価

3回のレポートをもって評価を行う。

教科書：特に指定は無し

参考書：  
その他の資料：資料を配布します

担当教員から

臨床で必要となる基本的なITスキルを実践を通して身につけましょう

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

健康・体力の維持・増進を図るため、身体運動及びスポーツの実習を行う。実習を通じて自主的・合理的に、生涯にわたる自己の心身の健康管理、及びスポーツ活動を行うことができる教養と実践能力を育成する。

(到達目標)

生涯にわたる自己の健康管理とスポーツ活動を行うことができる教養と実践能力を習得する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	オリエンテーション：整列の練習、選択種目の決定	笠松 具晃	演習
2	2	球技：バレーボール	笠松 具晃	演習
3	2	球技：バレーボール	笠松 具晃	演習
4	2	球技：バレーボール	笠松 具晃	演習
5	2	球技：バレーボール	笠松 具晃	演習
6	2	球技：バスケットボール	笠松 具晃	演習
7	2	球技：バスケットボール	笠松 具晃	演習
8	2	球技：バスケットボール	笠松 具晃	演習
9	2	球技：バスケットボール	笠松 具晃	演習
10	2	球技：バスケットボール	笠松 具晃	演習

総括的評価

各種目終了時に実技評価、及び参加態度で総合的に評価する。

教科書：

参考書：

その他の資料：

担当教員から

運動・スポーツを日常生活に取り入れ、授業時間以外の時間帯にも積極的にスポーツに親しむなど、学生生活に反映できればより望ましい。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 後期（1単位：20時間）

(授業概要)

治療的なレクリエーションについて学び、レクリエーション計画、実施を行う。

(教育目標)

- ・レクリエーションと期待する治療効果について理解する
- ・自ら楽しんでレクリエーションに参加できる
- ・レクリエーション計画書を作成し、レクリエーションを実施できるようになる

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	レクリエーションについて	常田つかさ	講義
2	2	作業療法士が行うレクリエーションについて	常田つかさ	講義
3	2	グループワーク演習	常田つかさ	演習
4	2	レクリエーションの治療効果、対象者に合わせることを学ぶ	常田つかさ	講義
5	2	レクリエーションを計画し進行・実践する	常田つかさ	演習
6	2	レクリエーションを計画し進行・実践する	常田つかさ	演習
7	2	レクリエーションを計画し進行・実践する	常田つかさ	演習
8	2	レクリエーションを実施し自主的に参加する	常田つかさ	演習
9	2	レクリエーションを実施し自主的に参加する	常田つかさ	演習
10	2	レクリエーションを実施し自主的に参加する	常田つかさ	演習

総括的評価

グループでの発表や計画書の提出をもって判断する。

教科書：

参考書：

その他の資料：適宜配布する

担当教員から

レクリエーションとは何かを学び、そこから対象者に合わせた治療的レクリエーションの計画、実施ができるようになって欲しい。グループワークを通してディスカッションを行い、一緒に計画を練り上げる、また実行する経験を積んでほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

授業科目名：音楽

担当教員：柏木 祐香

田中 理砂

1年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

学園の校歌を習得し、式典などで歌えること。音楽療法を考え、音楽効果が身体に作用することを考える。

(教育目標)

音楽において、<歌う>とはもっとも基本的かつ表現において最も重要な要素の一つである。また最も身近な音楽行為でもある。すぐれた作品を鑑賞することによって、そこに表現された人間の心をまなぶ。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	オリエンテーション 校歌を覚える	柏木 祐香	演習
2	2	歌唱活動 グループ作曲	柏木 祐香	演習
3	2	歌唱活動 ブーンワッカーを使った演奏①	柏木 祐香	演習
4	2	歌唱活動 ブーンワッカーを使った演奏②	柏木 祐香	演習
5	2	歌唱活動 ブーンワッカーを使った演奏③発表	柏木 祐香	演習
6	2	音楽療法の歴史：音楽療法はなぜできたか。音楽療法とは何か、どのような効果があるか。	田中 理砂	講義
7	2	音楽を奏でて：音でいろいろな表現をする。	田中 理砂	演習
8	2	楽器とは：各国の楽器について。	田中 理砂	演習
9	2	音楽療法の対応：どのようにして音楽療法は使われるか。	田中 理砂	演習
10	2	ボールを使って：ボールを使ったレクリエーション。	田中 理砂	演習

総括的評価

レポートにて成績判定を行う

教科書：学園歌集

参考書：

その他の資料：適宜配布する。

担当教員から

音楽の内面をいろいろな角度からみつめることによって、「音楽」が人間に及ぼすプラスアルファといったものをみなさんと一緒に考えていきたいとおもっています。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 後期 ( 1単位： 30時間)

(授業概要)

教本を通して英文や英会話の知識を深め、外国社会への関心を持ちながら、英語の読解力や英会話力を身につける。

(教育目標)

英文や英会話を正しく理解し、内容把握ができるようにする。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	Unit1 病院の受付場面	森 孝晴	講義
2	2	Unit2 検査、指示、	森 孝晴	講義
3	2	Unit3 入院手続き、病院内施設、	森 孝晴	講義
4	2	Unit4 病院の案内	森 孝晴	講義
5	2	Unit9 病室での会話、痛みの伝え方、指示	森 孝晴	講義
6	2	Unit10 リハビリ室での会話、薬剤師、痛みの伝え方	森 孝晴	講義
7	2	Unit11 リハビリのいろいろな指示、リスク対策、はげましながら、様子をききながら	森 孝晴	講義
8	2	Unit12 リハビリの可動域訓練、様々な指示	森 孝晴	講義
9	2	Unit13 ベッドサイド訓練、様々な指示	森 孝晴	講義
10	2	Unit14 車椅子と移乗動作、様々な指示	森 孝晴	講義
11	2	Unit15 マット上訓練、様々な指示	森 孝晴	講義
12	2	Unit16 立ち上がり訓練、様々な指示	森 孝晴	講義
13	2	Unit17 歩行練習、様々な指示	森 孝晴	講義
14	2	Unit18 呼吸・排痰訓練、様々な指示	森 孝晴	講義
15	2	Unit19 温熱療法、牽引療法	森 孝晴	講義

総括的評価

筆記による定期試験を実施する。定期試験の受験要件、実施方法などは改めて示す。

教科書： 20 Medical Dialogs 20 メディカル・ダイアログス 20ユニット・シリーズ8 (鷹書房弓プレス)

参考書：

その他の資料：

担当教員から

医療英語の基礎を学んだうえで、その後リハビリの英語に入っていきます。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期（1単位：30時間）

（授業概要）

社会生活を営む上で人との関係は必要不可欠なものである。人間関係を理解する上で大切なことは、まず自分を理解することである。本講義では、自分自身を理解することに取り組み、他者とコミュニケーションを取るために必要な「今ここにおける自分自身の状況を客観視できる力」や「自分の周りに影響を与える気持ちや態度」を高めるための演習等を通して、コミュニケーションスキルを実践的に学んでいく。将来医療者となる自分自身のコミュニケーション力を向上させること、自己理解、心と心の通い合いによって生まれる温かい人間理解を医療現場

（到達目標）

1. 自分を理解することに取り組み、自己理解を深めることができる。
2. 対人関係を円滑にするコミュニケーションについて具体的に理解できる。
3. 言語・準言語・非言語コミュニケーションについて具体的に説明できる。
4. 基本的なコミュニケーションスキル「みる」「聴く」「伝える」を理解できる。
5. 「傾聴」の基本を学び、具体的な方法について説明できる。
6. 感情に関する基本を理解し、自分の感情をコントロールする取り組みを始めることができる。
7. 自分も相手も大切にしたい伝え方「アイメッセージ」を学び具体的な方法について説明できる。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	「PT/OTを目指すあなたへ」 1. 授業概要説明 2. 対人援助職としてのPT/OT 3. PT/OTに必要なコミュニケーション力	山下 みどり	講義
2	2	自己理解（Ⅰ） 1. 自己概念 2. 自分の性格と傾向	山下 みどり	講義
3	2	自己理解（Ⅱ） 1. 他者からみた自分 2. 自己開示	山下 みどり	講義
4	2	自己理解（Ⅲ） 1. 自己存在についての意識 2. 自分の態度	山下 みどり	講義
5	2	人間関係と対人コミュニケーション（Ⅰ） 1. 人間の心を理解する （1）心の構造 （2）心の機能：人間理解のための方法	山下 みどり	講義
6	2	人間関係と対人コミュニケーション（Ⅱ） 1. 対人コミュニケーション分析 （1）対話から理解する方法 （2）人間関係を円滑にする対話	山下 みどり	講義
7	2	人間関係と対人コミュニケーション（Ⅲ） 1. 存在への働きかけ （1）存在認知の種類 （2）対人関係を良好にする働きかけ	山下 みどり	講義
8	2	コミュニケーション力を育もう（Ⅰ） 1. 言語・準言語コミュニケーション 2. 非言語コミュニケーション	山下 みどり	演習
9	2	コミュニケーション力を育もう（Ⅱ） 1. 「聞く」と「聴く」	山下 みどり	演習
10	2	コミュニケーション力を育もう（Ⅲ） 1. 傾聴トレーニング	山下 みどり	演習
11	2	コミュニケーション力を育もう（Ⅳ） 1. 伝える 2. 報告する	山下 みどり	演習
12	2	自律した自分になる 1. 医療者に必要な感情管理 2. 自分の感情をコントロールする方法	山下 みどり	演習
13	2	コミュニケーションスキル（Ⅰ） 自分も相手も大切にしたい伝え方 1. アイメッセージ	山下 みどり	演習
14	2	コミュニケーションスキル（Ⅱ） 自分と相手を大切にしたい自己主張 1. アサーティブネス	山下 みどり	演習
15	2	自律した自分になる 1. 自己管理 2. メンタルヘルス対策	山下 みどり	演習

総括的評価

受講態度・意欲等（30%）、課題提出と記述内容(30%)、終講試験（40%）

教科書：特になし。授業中にプリント配布。

参考書：「PT・OTのためのこれで安心 コミュニケーション実践ガイド 第2版」 山口美和著 医学書院 2016年

その他の資料：必要に応じて資料やワークシートなどを配布します。

担当教員から

- ①本講義では演習を多く取り入れます。積極的な取り組みを期待します。
- ②人とのかわりを通して、自分をそして他者を理解し、新たな自分を発見してください。
- ③本講義では心の問題について触れることがあります。ワークへの取り組みが難しい状況にある人は、無理せず遠慮なく申し出て下さい（申し出により不利になるようなことはありません）。

1年次 後期（ 1単位： 20時間）

(授業概要)

対人援助における人間関係の学びの重要性を知り、また自己の関係性の作り方に気づくことで、対人援助をより円滑に行う基礎を作る。

(教育目標)

①他者を理解するためには自分を理解する必要があることを理解する。②親子関係の特異性を学ぶ③作業療法士としてのコミュニケーションの取り方を理解する。④リフレーミングを通して自分の物の見方、考え方を見直す。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	人間関係とは	谷口 慶子	講義
2	2	対人認知とは	谷口 慶子	講義
3	2	パーソナリティとは	谷口 慶子	講義
4	2	コミュニケーションとチャネルとは	谷口 慶子	講義
5	2	感情とは	谷口 慶子	講義
6	2	葛藤と欲求不満とは	谷口 慶子	講義
7	2	ストレスとは	谷口 慶子	講義
8	2	援助行動・援助要請とソーシャルサポート、社会スキルとは	谷口 慶子	講義
9	2	動機づけ（モチベーション）と人間関係	谷口 慶子	講義
10	2	親子関係と子供の発達について	谷口 慶子	講義

総括的評価

上記の内容を踏まえた筆記試験による評価（100%）

教科書：メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論（電子書籍）：南山堂

参考書：生涯人間発達論（服部祥子著／医学書院）・PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド 第2版（山田美和著／医学書院）

その他の資料：

担当教員から

人間関係は大変身近なのに悩むとき以外はほとんど考えることがない。しかし常に人と人との関係性を意識することで、対人援助の専門家としての力量を高めていて欲しい。また、実習準備に備えての心得についても早い段階から取り入れたがなかなか汎化は難しいようである。今後の接遇マナーを学ぶ機会に伴って、実習に行くときに身に付けてもらいたい授業である。

実務経験のある教員による実践的授業

(授業概要)

本科目の授業では、身体の働きと構造を総合的・体系的に学習する。1年次の理学療法評価学、さらに、2年次の専門分野を学習するための基礎となる知識として必要な身体器官の正常構造や機能と基本的学術用語について理解を深める。

(到達目標)

1. 細胞・組織・器官・器官系の階層構造について説明できる。
2. 骨格全体の構成や特徴、個々の骨の名称や数を正確に説明できる。
3. 脳の構造と機能を理解し、高次脳機能との関連について説明できる。
4. 中枢神経系および末梢神経系を構成している各部の名称や機能を説明できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	第6章 骨格系；軸骨格（頭蓋①）	西山 圭介	講義
2	2	第6章 骨格系；軸骨格（頭蓋②）	西山 圭介	講義
3	2	第6章 骨格系；軸骨格（脊柱①）	西山 圭介	講義
4	2	第6章 骨格系；軸骨格（脊柱②）	西山 圭介	講義
5	2	第6章 骨格系；軸骨格（胸郭）	西山 圭介	講義
6	2	第7章 付属肢骨格(上肢の骨)	西山 圭介	講義
7	2	第7章 付属肢骨格(上肢の骨)	西山 圭介	講義
8	2	第7章 付属肢骨格(上肢の骨)	西山 圭介	講義
9	2	第7章 付属肢骨格(下肢の骨)	西山 圭介	講義
10	2	第8章 連結(関節と靭帯)	西山 圭介	講義
11	2	第8章 連結(関節と靭帯)	西山 圭介	講義
12	2	第8章 連結(関節と靭帯)	西山 圭介	講義
13	2	第8章 連結(関節と靭帯)	西山 圭介	講義
14	2	第9章 筋系：骨格筋の構造	西山 圭介	講義
15	2	第9章 筋系：骨格筋の構造	西山 圭介	講義
16	2	第10章 筋系：軸筋群	西山 圭介	講義
17	2	第11章 筋系：付属肢筋群	西山 圭介	講義
18	2	第11章 筋系：付属肢筋群	西山 圭介	講義
19	2	第13章 神経系：神経組織	田川 知恵子	講義
20	2	第14章 神経系：脊髄と脊髄神経①	田川 知恵子	講義
21	2	第14章 神経系：脊髄と脊髄神経②	田川 知恵子	講義
22	2	第14章 神経系：脊髄と脊髄神経③	田川 知恵子	講義
23	2	第17章 神経系：自律神経系	田川 知恵子	講義
24	2	第15章 神経系(大脳半球)	寺師 拓斗	講義
25	2	第15章 神経系(大脳半球)	寺師 拓斗	講義
26	2	第15章 神経系(脳幹)	寺師 拓斗	講義
27	2	第15章 神経系(小脳)	寺師 拓斗	講義
28	2	第16章 伝導路	寺師 拓斗	講義
29	2	第16章 伝導路	寺師 拓斗	講義
30	2	第16章 伝導路	寺師 拓斗	講義

総合的評価

中間試験と前期定期試験を実施し、課題ノート提出状況と併せて評価し、合格者には単位を認定する。  
 定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

テキスト及び参考文献

教科書：「カラー人体解剖学」井上 貴央 (西村書店)  
 「生理学 第8版」岡田 隆夫・日野 直樹・辻川 比呂斗著 (Kinpodo)  
 その他 配布資料あり

参考書：  
 ①標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、野村嶺編集、医学書院（電子教科書）  
 ②系統看護学講座基礎分野 生物学 第10版、高畑雅一・他著、医学書院（電子教科書）  
 ③スクエア最新図説生物neo九訂版、吉里勝利監修、第一学習者  
 ④基礎運動学 第6版補訂、中村隆一・他著、医歯薬出版株式会社

その他の資料： 教科書の補足として、適宜、スライド配布資料、他ハンドアウトを配布することがあります。

担当教員から

教科書の章、項目に沿った授業プリントを配布し授業を行うので、その授業プリントと自分でとったノート（ルーズリーフなど）を一緒に紙ファイルにファイリングしてください。授業後、自宅にて授業プリント・ノートを教科書と照らし合わせながら復習を行い、翌日、授業ファイルを提出してください。ノート未提出者は減点します。欠席者は後日補講を行い、翌日に復習ノートを提出。

実務経験のある教員による実践的授業

(授業概要)

P T ・ O T などの医療職に就くために必要な医学の基礎となる正常な人体の構造について、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系（教科書では泌尿生殖器系）、内分泌系、免疫系に関して、まずは総論として内臓系の名称、位置関係を概説し、その後各論として各器官系の構造について理解を深める。（免疫系は教科書では各項目に分散されている。）

(行動目標)

1. 感覚器系では、皮膚感覚・視覚器・平衡聴覚器の構造とその感覚機能について関連づけて説明できる。
2. 内臓系は構造体・位置関係とその名称を図示、説明できる。
3. 内分泌系は分泌されるホルモンとその主要作用を説明できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	第13章排泄と体液調節：尿の生成、糸球体濾過、腎循環	藤村 勇人	講義
2	2	第13章排泄と体液調節：尿細管の機能（再吸収と分泌、対向流増幅機序）	藤村 勇人	講義
3	2	第13章排泄と体液調節：まとめ	藤村 勇人	講義
4	2	第25章消化器系（消化器系の概観、口腔、咽頭、食道）	藤村 勇人	講義
5	2	第25章消化器系（胃、小腸、大腸）	藤村 勇人	講義
6	2	第25章消化器系（肝臓、胆嚢、膵臓）	藤村 勇人	講義
7	2	第18章 神経系：感覚①	田川 知恵子	講義
8	2	第18章 神経系：感覚②	田川 知恵子	講義
9	2	第5章 感覚系①	田川 知恵子	講義
10	2	第5章 感覚系②	田川 知恵子	講義
11	2	第5章 感覚系③	田川 知恵子	講義
12	2	第5章 感覚系④	田川 知恵子	講義
13	2	第5章 感覚系⑤	田川 知恵子	講義
14	2	第15章 神経系：脳神経①	藤村 勇人	講義
15	2	第15章 神経系：脳神経②	藤村 勇人	講義
16	2	第15章 神経系：脳神経③	藤村 勇人	講義
17	2	第15章 神経系：脳神経④	藤村 勇人	講義
18	2	第12章呼吸器：呼吸器の構造（鼻・咽頭・喉頭・気管および気管支の構造、胸膜と縦隔の構造）	立石 洋	講義
19	2	第12章呼吸器：呼吸運動	立石 洋	講義
20	2	第12章呼吸器：まとめ	立石 洋	講義
21	2	第21章 心臓血管系：心臓	寺師 拓斗	講義
22	2	第22章 心臓血管系：心臓	寺師 拓斗	講義
23	2	第22章 心臓血管系：血管と循環	寺師 拓斗	講義
24	2	第23章 心臓血管系：血管と循環	寺師 拓斗	講義
25	2	第23章 リンパ系	寺師 拓斗	講義
26	2	第15章内分泌系：ホルモンの構造と作用機序、分泌と調節	立石 洋	講義
27	2	第15章内分泌系：視床下部の内分泌、下垂体の内分泌	立石 洋	講義
28	2	第15章内分泌系：甲状腺の内分泌、上皮小体の内分泌	立石 洋	講義
29	2	第15章内分泌系：膵臓の内分泌、副腎の内分泌	立石 洋	講義
30	2	第15章内分泌系：性腺の内分泌、生殖（性分化、男性生殖生理、女性生殖生理）	立石 洋	講義

総括的評価

後期定期試験を実施し、課題ノート提出状況と併せて評価し、合格者には単位を認定する。  
定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

テキスト及び参考文献

教科書：「カラー人体解剖学」井上 貴央（西村書店）  
「生理学 第8版」岡田 隆夫・日野 直樹・辻川 比呂斗著（Kinmodo）  
その他、配布資料あり

参考書：

- ①標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、野村巖編集、医学書院（電子教科書）
- ②系統看護学講座基礎分野 生物学 第10版、高畑雅一・他著、医学書院（電子教科書）
- ③スクエア最新図説生物neo九訂版、吉里勝利監修、第一学習者
- ④基礎運動学 第6版補訂、中村隆一・他著、医歯薬出版株式会社

その他の資料：適宜資料を印刷、配布します。

担当教員から

教科書の章、項目に沿った授業プリントを配布し授業を行うので、その授業プリントと自分でとったノート（ルーズリーフなど）を一緒に紙ファイルにファイリングしてください。授業後、自宅にて授業プリント・ノートを教科書と照らし合わせながら復習を行い、翌日、授業ファイルを提出してください。ノート未提出者は減点します。欠席者は後日補講を行い、翌日に復習ノートを提出。

実務経験のある教員による実践的授業

(授業概要)

PT・OTなどの医療職に就くために必要な医学の基礎となる正常な人体機能について、細胞レベル・組織・器官さらには系統レベルで学び、生命現象を理解するための考え方、基本的学術用語と身体の仕組み働きについて理解を深める。私たちの身体の中には胃や腸、心臓などの内臓系、骨や筋、神経などの筋骨格系などさまざまな器官・組織があるが、これらは互いに独立して働いているわけではなく、筋運動をする心拍が速くなることからわかるように、相互に密接に関連しながら機能している。このような機能の調節も含めて、トータルとしての人体の構造と機能、特に機能を中心として理解することを目標とする。

(到達目標)

- 1.生理学において学ぶ言葉を述べ、その意味を説明することができる。
- 2.生体恒常性とそれに関わる身体反応について説明することができる。
- 3.人体の構造と機能ををマクロ・ミクロの両面から系統的に学び、説明することができる。
- 4.各器官およびその系統における機能について調節系も含め、説明することができる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	第1章 解剖学とは(解剖学用語と人体の区分,器官系)	田川 知恵子	講義
2	2	第2章 細胞(人体の構成;細胞/組織)	田川 知恵子	講義
3	2	第3章 組織(人体の構成;細胞/組織)	田川 知恵子	講義
4	2	第5章 骨格系;骨組織と骨格の構造	西山 圭介	講義
5	2	第7章 付属肢骨格(下肢の骨)	西山 圭介	講義
6	2	第7章 付属肢骨格(下肢の骨)	西山 圭介	講義
7	2	第4章 筋収縮;骨格筋の微細構造、筋フィラメントの滑走、興奮収縮連関	藤村 勇人	講義
8	2	第4章 筋収縮;骨格筋の微細構造、筋フィラメントの滑走、興奮収縮連関	藤村 勇人	講義
9	2	第4章 筋収縮:(収縮力学(収縮の様式、張力筋長関係)、収縮のエネルギー、筋疲労)	藤村 勇人	講義
10	2	第4章 筋収縮:心筋の収縮、平滑筋の収縮、まとめ	藤村 勇人	講義
11	2	第6章 運動系(運動機能の概念)	藤村 勇人	講義
12	2	第6章 運動系(脊髄反射)	藤村 勇人	講義
13	2	第6章 運動系(脊髄反射)	藤村 勇人	講義
14	2	第6章 運動系(速い運動と遅い運動)	藤村 勇人	講義
15	2	第6章 運動系(誘発筋電図および異常筋電図)	藤村 勇人	講義
16	2	第1章 序論:一般生理学(拡散と浸透圧)、器官生理学、生体恒常性、負のフィードバック	藤村 勇人	講義
17	2	第2章 細胞の生命現象:刺激と興奮(閾値、全か無の法則、強さ時間曲線、不応期)	藤村 勇人	講義
18	2	第2章 細胞の生命現象:刺激と興奮(閾値、全か無の法則、強さ時間曲線、不応期)	藤村 勇人	講義
19	2	第2章 細胞の生命現象:細胞膜の機能性タンパク質、細胞膜膜を介しての物質の輸送	藤村 勇人	講義
20	2	第2章 細胞の生命現象:細胞膜の機能性タンパク質、細胞膜膜を介しての物質の輸送	藤村 勇人	講義
21	2	第3章 興奮とその伝導、伝達:膜電位静止電位、活動電位)、神経の興奮伝導、興奮の伝達、神経筋接合部)	藤村 勇人	講義
22	2	第3章 興奮とその伝導、伝達:膜電位静止電位、活動電位)、神経の興奮伝導、興奮の伝達、神経筋接合部)	藤村 勇人	講義
23	2	第3章 興奮とその伝導、伝達:膜電位静止電位、活動電位)、神経の興奮伝導、興奮の伝達、神経筋接合部)	藤村 勇人	講義
24	2	第6章 運動系(姿勢反射)	寺師 拓斗	講義
25	2	第6章 運動系(姿勢反射)	寺師 拓斗	講義
26	2	第6章 運動系(姿勢反射)	寺師 拓斗	講義
27	2	第8章 大脳皮質の統合機能	寺師 拓斗	講義
28	2	第8章 大脳皮質の統合機能	寺師 拓斗	講義
29	2	第8章 大脳皮質の統合機能	寺師 拓斗	講義
30	2	第8章 大脳皮質の統合機能	寺師 拓斗	講義

総括的評価

前期定期試験を実施し、課題ノート提出状況と併せて評価し、合格者には単位を認定する。  
定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：「カラー人体解剖学」井上 貴央 (西村書店)  
「生理学 第8版」岡田 隆夫・日野 直樹・辻川 比呂斗著 (Kinpodo)  
その他、配布資料あり

参考書：  
①標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、野村嶺編集、医学書院 (電子教科書)  
②系統看護学講座基礎分野 生物学 第10版、高畑雅一・他著、医学書院 (電子教科書)  
③スクエア最新図説生物neo九訂版、吉里勝利監修、第一学習者  
④基礎運動学 第6版補訂、中村隆一・他著、医歯薬出版株式会社  
⑤標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版、岡田隆夫・他著、医学書院 (電子教科書)

その他の資料：教科書の内容にかなりの不足があるため内容に沿った授業プリント(補足プリント)を配布し、その資料で授業を行います。

担当教員から

教科書の章、項目に沿った授業プリントを配布し授業を行うので、その授業プリントと自分でとったノート(ルーズリーフなど)と一緒に紙ファイルにファイリングしてください。授業後、自宅にて授業プリント・ノートを教科書と照らし合わせながら復習を行い、翌日、授業ファイルを提出してください。ノート未提出者は減点します。欠席者は後日補講を行い、翌日に復習ノートを提出。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 後期（ 3単位： 60時間）

(授業概要)

PT・OTなどの医療職に就くために必要な医学の基礎となる正常な人体機能について、細胞レベル・組織・器官さらには系統レベルで学び、生命現象を理解するための考え方、基本的学術用語と身体の仕組み働きについて理解を深める。私たちの身体の中には胃や腸、心臓などの内臓系、骨や筋、神経などの筋骨格系などさまざまな器官・組織があるが、これらは互いに独立して働いているわけではなく、筋運動をすると心拍が速くなることからわかるように、相互に密接に関連しながら機能している。このような機能の調節をも含めて、トータルとしての人体の構造と機能、特に機能を中心として理解することを目標とする。

(到達目標)

- 1.生理学において学ぶ言葉を述べ、その意味を説明することができる。
- 2.生体恒常性とそれに関わる身体反応について説明することができる。
- 3.人体の構造と機能をマクロ・ミクロの両面から系統的に学び、説明することができる。
- 4.各器官およびその系統における機能について調節系も含め、説明することが出来る。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	第20章 血液	藤村 勇人	講義
2	2	第9章 血液①	藤村 勇人	講義
3	2	第9章 血液②	藤村 勇人	講義
4	2	第13章排泄と体液調節：尿細管の機能（再吸収と分泌、対向流増幅機序）	藤村 勇人	講義
5	2	第13章排泄と体液調節：利尿、利尿ホルモン、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系、抗利尿ホルモン	藤村 勇人	講義
6	2	第13章排泄と体液調節：排尿反射、蓄尿反射	藤村 勇人	講義
7	2	第14章消化と吸収（消化吸収の概要、噛みくだきおよび嚥下、唾液、胃液分泌と胃内消化）	藤村 勇人	講義
8	2	第14章消化と吸収（胃の運動、小腸における消化液の分泌、小腸における消化と吸収）	藤村 勇人	講義
9	2	第14章消化と吸収（小腸の運動、大腸、腸管の神経支配と排便）	藤村 勇人	講義
10	2	栄養と代謝(栄養素と代謝、糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー)	藤村 勇人	講義
11	2	栄養と代謝(栄養素と代謝、糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー)	藤村 勇人	講義
12	2	栄養と代謝(栄養素と代謝、糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー)	藤村 勇人	講義
13	2	まとめ	藤村 勇人	講義
14	2	第7章 自律神経系①	藤村 勇人	講義
15	2	第7章 自律神経系②	藤村 勇人	講義
16	2	第12章呼吸器：肺機能検査（スパイロメトリー、フローボリューム曲線）	立石 洋	講義
17	2	第12章呼吸器：肺機能検査（スパイロメトリー、フローボリューム曲線）	立石 洋	講義
18	2	第12章呼吸器：ガス交換、ガス運搬	立石 洋	講義
19	2	第12章呼吸器：酸塩基平衡	立石 洋	講義
20	2	第12章呼吸器：呼吸運動の調節（呼吸中枢、ヘリングブロイエル反射、機械受容体、化学受容体）	立石 洋	講義
21	2	第12章呼吸器：呼吸の型、異常呼吸	立石 洋	講義
22	2	第10章 心臓	寺師 拓斗	講義
23	2	第10章 心臓	寺師 拓斗	講義
24	2	第10章 心臓	寺師 拓斗	講義
25	2	第10章 心臓	寺師 拓斗	講義
26	2	第11章 血液循環	寺師 拓斗	講義
27	2	第11章 血液循環	寺師 拓斗	講義
28	2	第11章 血液循環	寺師 拓斗	講義
29	2	第11章 血液循環	寺師 拓斗	講義
30	2	第11章 血液循環	寺師 拓斗	講義

総括的評価

後期定期試験を実施し、課題ノート提出状況と併せて評価し、合格者には単位を認定する。  
定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：「カラ―人体解剖学」井上 貴央（西村書店）  
「生理学 第8版」岡田 隆夫・日野 直樹・辻川 比呂斗著（Kinpodo）  
その他、配布資料あり

- 参考書：
- ①標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、野村嶺編集、医学書院（電子教科書）
  - ②系統看護学講座基礎分野 生物学 第10版、高畑雅一・他著、医学書院（電子教科書）
  - ③スクエア最新図説生物neo九訂版、吉里勝利監修、第一学習者
  - ④基礎運動学 第6版補訂、中村隆一・他著、医歯薬出版株式会社
  - ⑤標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版、岡田隆夫・他著、医学書院（電子教科書）

その他の資料：教科書の内容にかなりの不足があるため、教科書の内容・項目に沿った授業プリント（補足プリント）を配布し、その資料で授業を行います。

担当教員から

教科書の章、項目に沿った授業プリントを配布し授業を行うので、その授業プリントと自分でとったノート（ルーズリーフなど）と一緒に紙ファイルにファイリングしてください。授業後、自宅にて授業プリント・ノートを教科書と照らし合わせながら復習を行い、翌日、授業ファイルを提出してください。ノート未提出者は減点します。欠席者は後日補講を行い、翌日に復習ノートを提出。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 前期・後期（2 単位：4 0 時間）

(授業概要)

ヒトの身体運動の仕組みに関する学問に触れ筋骨格系の構造・身体に加わる力とのかかわりを理解する。

(教育目標)

- ・ 正常な骨格や筋を知り身体構造を理解する
- ・ 身体構造を覚え異常運動をイメージできる

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	身体運動の面と軸	宇都 未佑	講義
2	2	運動器の構造と機能	宇都 未佑	講義
3	2	運動器の構造と機能（骨の構成成分）	宇都 未佑	講義
4	2	運動器の構造と機能（骨の発生と成長）	宇都 未佑	講義
5	2	関節の構造と機能	宇都 未佑	講義
6	2	関節の構造と機能（関節軟骨）	宇都 未佑	講義
7	2	関節運動の表現	宇都 未佑	講義
8	2	骨格筋（靭帯や腱）	宇都 未佑	講義
9	2	骨格筋（筋繊維の種類・運動単位）	宇都 未佑	講義
10	2	筋収縮	宇都 未佑	講義
11	2	上肢の運動学	宇都 未佑	講義
12	2	関節とてこ	宇都 未佑	講義
13	2	肩関節の運動	宇都 未佑	講義
14	2	ひじ関節の運動	宇都 未佑	講義
15	2	ひじ関節の運動	宇都 未佑	講義
16	2	手関節の運動	宇都 未佑	講義
17	2	手関節の運動	宇都 未佑	講義
18	2	手指の構造	宇都 未佑	講義
19	2	総まとめ	宇都 未佑	講義
20	2	総まとめ	宇都 未佑	講義

総括的評価

筆記試験（70点）と筋肉の口頭試問（30点）にて6割合格とする

教科書：基礎運動学 第7版

参考書：

その他の資料：筋肉暗記カード

担当教員から

リハビリテーションにおいて基礎となる科目であり重要です。前期では専門用語の理解と運動におけるシステムについての理解を深めていきます。後期では各関節、筋肉など講義と実技でより専門的になります。

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 前期（2単位：40時間）

(授業概要)

1年時の運動学で修得した内容の復習を行いその知識をもとに、体表から視診・触診を通して、正常な関節構成体の構造と機能を確認する。  
また、基本動作の特徴やその仕組みを学び、各疾患ごとの動作の違いを理解する。

(到達目標)

上肢・下肢・頸部・体幹における各関節の構造と運動を理解する。  
上肢・下肢・頸部・体幹における、筋・靭帯の走行を理解し、各筋・骨・靭帯の触診ができる。  
各基本動作の基礎・特徴について理解する。  
各疾患の動作の特徴について理解することが出来る。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	下肢帯および下肢の機能解剖	黒木 辰朗	講義
2	2	下肢帯および下肢の関節解剖	黒木 辰朗	演習
3	2	上肢帯および上肢の機能解剖	黒木 辰朗	講義
4	2	上肢帯および上肢の関節運動①（肩甲帯・肩関節）	黒木 辰朗	演習
5	2	上肢帯および上肢の関節運動②（肘関節・前腕・手関節・手指）	黒木 辰朗	演習
6	2	頭頸部・体幹の機能解剖	黒木 辰朗	講義
7	2	脊柱・体幹の関節運動	黒木 辰朗	演習
8	2	筋力	黒木 辰朗	講義
9	2	筋活動	黒木 辰朗	講義
10	2	姿勢①静止姿勢	黒木 辰朗	演習
11	2	姿勢②姿勢制御	黒木 辰朗	演習
12	2	生体力学	黒木 辰朗	講義
13	2	動作分析	黒木 辰朗	演習
14	2	歩行	黒木 辰朗	講義
15	2	呼吸と循環	黒木 辰朗	講義
16	2	実技演習	黒木 辰朗	演習
17	2	実技演習	黒木 辰朗	演習
18	2	実技演習	黒木 辰朗	演習
19	2	実技演習	黒木 辰朗	演習
20	2	実技演習	黒木 辰朗	演習

総括的評価

定期試験にて判定する。  
終講試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：基礎運動学 第7版（医歯薬出版）

参考書：レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学実習

その他の資料：必要に応じて資料を適宜配布します。

担当教員から

適宜、実技演習を組み込みます。運動学で学んだ知識をもとに触診や身体運動の観察など行うので、身体構造や身体運動の特徴を理解できるように1年時の運動学の復習を行い授業に臨み理解を深められるようにしてください。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 後期（1 単位：30 時間）

（授業概要）

臨床で用いられる検査や心理療法を事例を用いながら学ぶ。自身の心理的状況の理解をし、自己の治療的活用とは何かを学ぶ

（教育目標）

- ①臨床で用いられる、心理検査について理解し説明できる
- ②臨床で用いられる、心理療法について理解し説明できる

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	自己のエゴグラムを作成する／交流分析を学ぶ目的を考える／治療的自我について	依積田 大志	講義
2	2	交流分析の基本的な考え方(自己の感情・考え・行動の責任について)	依積田 大志	講義
3	2	自我状態について (P/A/C) ①	依積田 大志	講義
4	2	自我状態について (P/A/C) ②	依積田 大志	講義
5	2	臨床心理学とは	依積田 大志	講義
6	2	防衛機制	依積田 大志	講義
7	2	心理アセスメント	依積田 大志	講義
8	2	臨床で用いられる心理検査	依積田 大志	講義
9	2	臨床心理学の介入方法	依積田 大志	講義
10	2	行動療法・認知行動療法	依積田 大志	講義
11	2	臨床心理学の介入技法①	依積田 大志	講義
12	2	事例の紹介	依積田 大志	講義
13	2	臨床心理学の介入技法②	依積田 大志	講義
14	2	まとめ①	依積田 大志	講義
15	2	まとめ②	依積田 大志	講義

総括的評価

筆記試験にて行います

教科書：リハベーシック心理学・臨床心理学 医歯薬出版株式会社

参考書：

その他の資料：

担当教員から

リハビリテーションは、対象者が主体的に取り組むことで、その効果が最大になります。その主体性を引き出すために、セラピストとして、自己活用出来るようになることを願っています。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 後期（1単位：30時間）

（授業概要）

病理学は病気を科学的に理解するための基礎的な考え方を学ぶ学問領域である。「解剖学」や「生理学」で学習した人体の正常な構造・機能に関する知識を基礎として、疾病（病気）の原因とその発生進展過程について系統的に理解し、臨床の現場で遭遇する可能性のある疾病（病気）を理解するための基盤を形成することを目的とする。病理学総論に重点を置き、代表的な疾病に言及しながら講義形式で教授する。

（教育目標）

- ① 先天異常（遺伝性疾患・奇形・染色体異常・）および老化について説明できる。
- ② 細胞傷害と代謝障害・進行性病変に含まれる諸概念について説明できる。
- ③ 循環障害の種類と、それぞれの発生機構について説明できる。
- ④ 炎症の定義と分類について説明し、炎症性疾患・免疫異常について説明できる。
- ⑤ 腫瘍を定義し、良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴と相違点について説明できる。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	病理学の概要・病因	吉田 愛知	講義
2	2	退行性病変（変性・萎縮・細胞死）	吉田 愛知	講義
3	2	物質代謝障害と蓄積・先天性代謝障害	吉田 愛知	講義
4	2	進行性病変（肥大と過形成・化生・再生）	吉田 愛知	講義
5	2	循環障害Ⅰ（動脈硬化と疾患）	吉田 愛知	講義
6	2	循環障害Ⅱ（うっ血、充血、出血、血栓症、塞栓症、梗塞、浮腫、ショックなど）	吉田 愛知	講義
7	2	炎症と免疫・免疫異常（自己免疫疾患、アレルギー、免疫不全）	吉田 愛知	講義
8	2	炎症反応と疾患・感染症	吉田 愛知	講義
9	2	腫瘍Ⅰ（定義、良性と悪性の相違点）	吉田 愛知	講義
10	2	腫瘍Ⅱ（腫瘍の発生と進展・浸潤と転移）	吉田 愛知	講義
11	2	腫瘍Ⅲ（疫学・臨床病期・治療・予防）	吉田 愛知	講義
12	2	遺伝性と病気（遺伝のメカニズムと遺伝性疾患）	吉田 愛知	講義
13	2	先天異常（奇形・染色体異常）	吉田 愛知	講義
14	2	老化と疾病・病理検査	吉田 愛知	講義
15	2	日本人の病気・病理学まとめ	吉田 愛知	講義

総括的評価

終講試験で評価する。

教科書：標準PTOT専門基礎 病理学、 医学書院

参考書：ロビンス基礎病理学（第8版）、豊國伸哉・高橋正英監訳、丸善出版  
 ロス&ウィルソン 健康と病気のしくみがわかる解剖生理学（改訂版） A ウォー他著、西村書店

その他の資料：必要に応じてプリントを配布する。

担当教員から

授業をよく聴いて、授業後に簡単に復習することを怠らないこと。授業終了後講義室で、随時質問等に応じる。

実務経験のある教員による実践的授業

(授業概要)

<p>1.救命救急医療の概要と救急処置法について概説する。リハビリテーション医療や医療福祉の分野に必要な救急病態を理解し、心肺蘇生、呼吸管理等の救命救急医療について学習する。次に、外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、老年医学領域の代表的疾患について、病態、症状、検査、評価、治療を学ぶ。</p> <p>2.栄養学は、健康・医療福祉・スポーツなど多くの領域に関わっている。健康と栄養に対する理解を深めるために、栄養学と病態・疾病の食事療法に関する基本を学び、将来のリハビリテーションの現場に立つときの力を身につける。主に、配布資料等を用いて講義する。</p>
--

(到達目標)

<p>1.救命救急医療の病態を理解し、心肺蘇生、呼吸管理等の救急処置法を理解・修得する。</p> <p>2.外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、老年医学領域の代表的疾患について、特徴的病態、症状、検査、評価、治療を説明できる。</p> <p>3.外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、老年医学領域の疾患の症例を担当した場合に、医師や看護師に対してリハビリテーション専門職としての情報収集ができる。</p>
---

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	救命救急医療における心肺蘇生法・ショック対応	立石 洋	講義
2	2	救命救急医療における呼吸管理	立石 洋	講義
3	2	救命救急医療における中心静脈栄養・輸血療法	立石 洋	講義
4	2	救命救急医療における救急処置・ICUの役割	立石 洋	講義
5	2	外科的処置（機械的損傷・非機械的損傷）	立石 洋	講義
6	2	外科的処置（感染性疾患・末梢血行障害・腫瘍・臓器移植）	立石 洋	講義
7	2	脳神経外科概論 1. 解剖生理 2. 症候と病態 3. 補助診断法 4. 主な疾患	立石 洋	講義
8	2	皮膚疾患概論 1. 解剖生理 2. 症候と病態 3. 補助診断法 4. 主な疾患	立石 洋	講義
9	2	泌尿器科・生殖器疾患概論 1. 解剖生理 2. 症候と病態 3. 補助診断法 4. 主な疾患	立石 洋	講義
10	2	婦人科・産科疾患概論 1. 解剖生理 2. 症候と病態 3. 補助診断法 4. 主な疾患	立石 洋	講義
11	2	眼疾患概論 1. 解剖生理 2. 症候と病態 3. 補助診断法 4. 主な疾患	立石 洋	講義
12	2	耳鼻咽喉科疾患概論 1. 解剖生理 2. 症候と病態 3. 補助診断法 4. 主な疾患	立石 洋	講義
13	2	老年医学（高齢者ケアの基本原則）	立石 洋	講義
14	2	老年医学（高齢者によく見られる疾患・高齢者において異常な症候を示す疾患）	立石 洋	講義
15	2	老年医学（高齢者における薬物療法）	立石 洋	講義
16	2	薬理学全般。特によく使われる用語について解説する。	橋之口 充	講義
17	2	薬物動態(1)薬物の適用方法、特に経口適用と注射による違いを解説する。	橋之口 充	講義
18	2	薬物動態(2)適用された薬の体内での動態（吸収、体内分布、代謝、排泄）について解説する。	橋之口 充	講義
19	2	神経系の働きと薬の作用を解説する。	橋之口 充	講義
20	2	痛みを抑えるために使われる様々な薬について考察する。	橋之口 充	講義
21	2	・オリエンテーション：リハビリテーション栄養を学ぶ目的を知る。 ・栄養の基礎 その1	福島 洋子	講義
22	2	・栄養の基礎 その2	福島 洋子	講義
23	2	・主な病態の栄養療法の基礎	福島 洋子	講義
24	2	・主な疾患の栄養療法の基礎	福島 洋子	講義
25	2	・まとめ（第21回～25回）	福島 洋子	講義
26	2	オリエンテーション	救急指導員	講義
27	2	一次救命処置（心肺蘇生及びAEDの使い方）	救急指導員	演習
28	2	搬送法及び気道異物除去	救急指導員	演習
29	2	応急処置（止血・キズの手当・固定）の実技	救急指導員	演習
30	2	まとめ（第26回～30回）・復習・検定（筆記試験、正解率80%以上で認定証を交付）	救急指導員	講義

総括的評価

<p>（立石）終講後に筆記試験を実施し合格者には単位を認定する。試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。 （橋之口・福島）最初の授業時に複数の授業内容に関連した課題を提示しておき、最後の授業が終了後各自が興味のある課題についてレポートを作成させ評価する。</p>
---

<p>教科書： 1.PT・OT・STのための一般臨床医学 第3版 医歯薬出版株式会社 2.教材「救急法基礎講習」配布</p>
--

<p>参考書： 1.「疾患の成り立ちと回復の促進(1) 病理学」 医学書院 2.「老人のリハビリテーション 第8版」 医学書院 3.「リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎」 医歯薬出版 栢木 淳 若林秀隆 4.「PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養学」 医歯薬出版 若林 秀雄 著 5.「リハビリテーション生化学・栄養学」 医歯薬出版 内山 靖 他 編著</p>
---

<p>その他の資料： 状況に応じ、随時、必要と思われる資料等を紹介、もしくは提示する予定である。</p>
--

担当教員から

<p>リハビリテーション医療を担う上で「医療行為」を知ることが非常に重要です。 リハビリテーション医や主治医、執刀医へ情報収集するためには様々な知識が必要となります。1年次で難しい用語もたくさん出てきますが遠慮なくメール等で質問してください。共に学んでいきましょう！</p>
---

2 年次 前期（ 2 単位： 40 時間）

(授業概要)

広い意味の内部障害（心臓機能障害、呼吸機能障害、腎臓機能障害、代謝障害、膀胱・直腸障害、小腸機能障害、癌のリハビリテーション）といわれる疾患それぞれに起因する運動・機能障害の成因・病態・回復過程・予後に関する知識をもとに、その理学療法（リスク管理、評価・運動療法・物理療法・ADL指導・生活環境支援）の理論と技術を習得し、臨床応用できる基礎を系統的に学習する。基本的に、呼吸理学療

(到達目標)

- 内部障害に対するリハビリテーションを理学療法の観点から理解し、呼吸理学療法技術を中心に学習する。
1. 内部障害の定義と種類や特徴について、理学療法の観点から説明する。
  2. 内部障害患者（呼吸器疾患）に対する理学療法施行に際し必要な医学的知識を関連づける。
  3. 運動と代謝・呼吸・循環についてメカニズムを関連づける。
  4. 肺の解剖と呼吸生理および検査データについて理学療法に活用する。
  5. 内部障害各疾患に対応した運動負荷試験をあげる。
  6. 呼吸機能不全を呈する疾患と病態について理学療法と関連づける。
  7. 呼吸機能不全に対するチームアプローチの重要性を示す。
  8. 呼吸機能不全に対する日常生活指導ができる。
  9. 呼吸機能不全に対する理学療法について、手技とその手順を示す。
  10. 心機能と血液循環について理学療法に関連づける。
  11. 循環器疾患の検査・評価・病態について理学療法と関連づける。
  12. 循環器疾患に対する理学療法について、手技とその手順を示す。
  13. 循環器疾患に対するチームアプローチの重要性を示す。
  14. 循環器疾患に対する日常生活指導ができる。
  15. 代謝障害（糖尿病、高血圧症、痛風、肥満）等について理学療法と関連づける。
  16. 代謝障害（糖尿病、高血圧症、痛風、肥満）等の理学療法について、手技とその手順を示す。
  17. 腎臓機能障害の理学療法について示す。
  18. 肝臓機能障害、膵・膀胱機能障害の理学療法について示す。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	症候1：腰痛、呼吸困難・異常、咯血・吐血、動悸・心悸亢進	富宿 明子	講義
2	2	症候2：チアノーゼ、ショック、浮腫、発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心・嘔吐	富宿 明子	講義
3	2	症候3腹痛、易感染性、意識障害、めまい、頭痛、けいれん	富宿 明子	講義
4	2	呼吸器疾患1：解剖生理学、運動学、閉塞性換気障害、拘束性換気障害	富宿 明子	講義
5	2	呼吸器疾患2：感染性肺疾患、在宅酸素療法、呼吸リハビリテーション	富宿 明子	講義
6	2	循環器疾患1：解剖生理学、虚血性心疾患、心不全、心弁膜疾患、先天性心疾患	富宿 明子	講義
7	2	循環器疾患2：不整脈、心筋疾患、心膜炎、動脈疾患・末梢血管疾患、高血圧	富宿 明子	講義
8	2	消化器疾患1：解剖生理学、症候、口腔・食道疾患、胃疾患	富宿 明子	講義
9	2	消化器疾患2：小腸疾患、大腸疾患、肝疾患、胆のう疾患、膵疾患	富宿 明子	講義
10	2	代謝性疾患1：生理学、糖代謝障害（糖尿病・低血糖）	富宿 明子	講義
11	2	代謝性疾患2：脂質代謝疾患（高脂血症）、痛風、骨粗鬆症	富宿 明子	講義
12	2	内分泌疾患1：解剖生理学、視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患	富宿 明子	講義
13	2	内分泌疾患2：副甲状腺疾患、副腎皮質・副腎髄質疾患、性腺疾患	富宿 明子	講義
14	2	泌尿器疾患：解剖生理学、急性腎不全・慢性腎不全、前立腺疾患、その他	富宿 明子	講義
15	2	血液・造血性疾患1：解剖生理学、貧血・多血症	富宿 明子	講義
16	2	血液・造血性疾患2：白血病、悪性リンパ腫、出血性疾患	富宿 明子	講義
17	2	免疫関連疾患：生理学、膠原病、膠原病類縁疾患、自己免疫疾患、免疫不全症候群	富宿 明子	講義
18	2	感染性疾患：感染症	富宿 明子	講義
19	2	老年期疾患：加齢に伴う生理的変化、老年症候群	富宿 明子	講義
20	2	まとめ	富宿 明子	講義

総括的評価

定期（筆記）試験にて合格者には単位を認定する。試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照してください。

教科書：標準理学療法学・作業療法学「内科学」第3版（医学書院デジタル教科書）

参考書：わかりやすい内科学（文光堂）  
PT・OT基礎から学ぶ内科学ノート（医歯薬出版）

その他の資料：

担当教員から

内科疾患の症候はリハビリテーション領域で多く遭遇します。前向きな態度を望みます。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 後期（1 単位：30 時間）

(授業概要)

人体の運動器官にかかわる疾患の診断と治療、リハビリテーションについて学習する。総論として骨・関節、神経・筋肉の機能解剖と病態について学び、各論として骨折や脱臼などの外傷や慢性関節疾患について学習する。

(到達目標)

1. 運動器疾患の基礎となる骨・関節、筋・神経の構造や病態について十分な知識を学習する。
2. 整形外科的な診断法や治療法について総論的な知識を学習する。
3. 運動器障害をもたらす代表的な疾患の総論や各論について学習する。
4. セラピストとして遭遇することの多い外傷に関する知識の習得を目指す。
5. リハチームアプローチの一員として、他職種の人たちとも協力できるセラピストを目指す。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	運動器の生理（骨の構造と分類）	西山 圭介	講義
2	2	運動器の生理（関節の構造と分類）	西山 圭介	講義
3	2	運動器の構造・整形外科（診察）	西山 圭介	講義
4	2	運動器の構造・整形外科（検査）	西山 圭介	講義
5	2	運動器の構造・整形外科（治療：保存療法について）	西山 圭介	講義
6	2	運動器の構造・整形外科（外傷：外傷総論）	西山 圭介	講義
7	2	運動器の構造・整形外科（外傷：コンパートメント症候群、複合性局所疼痛症候群）	西山 圭介	講義
8	2	運動器の構造・整形外科（外傷：骨折総論、上腕骨骨折）	西山 圭介	講義
9	2	運動器の構造・整形外科（外傷：橈骨遠位端骨折、大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折）	西山 圭介	講義
10	2	運動器の構造・整形外科（体幹の疾患：脊椎圧迫骨折）	西山 圭介	講義
11	2	運動器の構造・整形外科（体幹の疾患：椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症）	西山 圭介	講義
12	2	運動器の構造・整形外科（外傷：脱臼総論、肩関節脱臼、肩鎖関節脱臼）	西山 圭介	講義
13	2	運動器の構造・整形外科（外傷：肘関節脱臼、肘内障、股関節脱臼）	西山 圭介	講義
14	2	運動器の構造・整形外科（慢性関節疾患：変形性関節症）	西山 圭介	講義
15	2	運動器の構造・整形外科（慢性関節疾患：変形性関節症）	西山 圭介	講義

総括的評価

定期試験にて行う。定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：「標準整形外科学 第16版」田中 栄編集（医学書院）電子テキスト

参考書：標準整形外科学第14版（医学書院）

その他の資料：適宜プリントなど配布

担当教員から

整形外科疾患は臨床現場でも目にする機会が多岐にわたります。授業後にしっかりと復習を行い、病態や検査、治療内容の学習を怠らないようにしてください。

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

人体の運動器官にかかわる疾患の診断と治療、リハビリテーションについて学習する。各論として頸椎疾患や側弯症、関節リウマチ、スポーツ外傷についても学習する。

(到達目標)

- 1.運動器疾患の基礎となる骨・関節、筋・神経の構造や病態について十分な知識を学習する。
- 2.整形外科的な診断法や治療法について総論的な知識を学習する。
- 3.運動器障害をもたらす代表的な疾患の総論や各論について学習する。
- 4.セラピストとして遭遇することの多い外傷学に関する知識の習得を目指す。
- 5.リハチームアプローチの一員として、他職種の人たちとも協力できるセラピストを目指す。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	疾患各論(頸椎変性疾患)	西山 圭介	講義
2	2	疾患各論(頸椎変性疾患)	西山 圭介	講義
3	2	疾患各論(胸椎の疾患)	西山 圭介	講義
4	2	疾患各論(胸椎の疾患)	西山 圭介	講義
5	2	疾患総論（関節リウマチ）	西山 圭介	講義
6	2	疾患総論（関節リウマチ）	西山 圭介	講義
7	2	疾患総論（関節リウマチ）	西山 圭介	講義
8	2	整形外科外傷学（末梢神経損傷）	西山 圭介	講義
9	2	整形外科外傷学（末梢神経損傷）	西山 圭介	講義
10	2	整形外科外傷学（末梢神経損傷）	西山 圭介	講義
11	2	疾患各論(膝関節の疾患)	西山 圭介	講義
12	2	疾患各論(膝関節の疾患)	西山 圭介	講義
13	2	疾患各論(足関節の疾患)	西山 圭介	講義
14	2	疾患各論(足関節の疾患)	西山 圭介	講義
15	2	スポーツ障害について	西山 圭介	講義

総括的評価

定期（筆記）試験にて行う。定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書： 「標準整形外科学 第14版」 （医学書院）

参考書：病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 編集：医療情報科学研究所 メディックメディア

その他の資料：適宜プリントなど配布

担当教員から

整形外科疾患の概要について学びます。治療プログラムの考案やリスク管理にも必要となる知識なので日々の復習を確実に行ってください。

実務経験のある教員による実践的授業

2 年次 前・後期（2 単位：40 時間）

(授業概要)

神経内科疾患と、その治療などについて理解することを目的とする。具体的には、神経症候学の概要、及び主要な神経疾患である脳卒中、パーキンソン病などの神経疾患、筋ジストロフィーなどの筋疾患、難病等のリハビリテーションの対象となることの多い疾患について、病態、病理、症状、治療、予後等について学習する。

(教育目標)

神経機能については機能解剖学と神経生理学に基いて理解をすること、リハビリテーションに必要な神経学を学び、学生は卒業後に療法士として神経疾患のリハビリテーションが行えるように神経疾患の病態、病理、症状、予後、治療、リハビリテーションに関する知識の習得を目標にする。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	総論 1	黒木 辰郎	講義
2	2	総論 2	黒木 辰郎	講義
3	2	意識障害	黒木 辰郎	講義
4	2	高次脳機能障害	黒木 辰郎	講義
5	2	運動麻痺	黒木 辰郎	講義
6	2	錐体外路障害	黒木 辰郎	講義
7	2	共調運動障害	黒木 辰郎	講義
8	2	不随意運動	黒木 辰郎	講義
9	2	脳血管障害 1	黒木 辰郎	講義
10	2	脳血管障害 2	黒木 辰郎	講義
11	2	脳血管障害 3	黒木 辰郎	講義
12	2	変性疾患 1	黒木 辰郎	講義
13	2	変性疾患 2	黒木 辰郎	講義
14	2	脱髄疾患 1	黒木 辰郎	講義
15	2	脱髄疾患 2	黒木 辰郎	講義
16	2	末梢神経障害 1	黒木 辰郎	講義
17	2	末梢神経障害 2	黒木 辰郎	講義
18	2	筋疾患	黒木 辰郎	講義
19	2	神経筋接合部疾患	黒木 辰郎	講義
20	2	まとめ	黒木 辰郎	講義

総括的評価

小テスト（10%）、定期試験（80%）の成績、ならびに講義への出席状況（10%）で判断する。

教科書：

標準理学療法学作業療法学 神経内科学 医学書院（医学書院デジタル教科書）

参考書：

イラストでわかる PTOTSTのための神経内科学 メディカ出版

その他の資料：

授業に則したプリントを配布

担当教員から

リハの対象となる疾患がたくさん関係します 頑張って下さい

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 前・後期（2 単位：40 時間）

(授業概要)

統合失調症・神経症性障害・てんかん・気分障害・アルコール依存症・認知症について学ぶ。

(教育目標)

精神医学の対象である精神障害について学ぶことで、精神科領域の疾患について整理する。

zew

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	精神医学総論①	俵積田大志	講義
2	2	精神医学総論②	俵積田大志	講義
3	2	統合失調症①	俵積田大志	講義
4	2	統合失調症②	俵積田大志	講義
5	2	気分症	俵積田大志	講義
6	2	神経症	俵積田大志	講義
7	2	強迫症および関連症	俵積田大志	講義
8	2	心的外傷およびストレス因関連症	俵積田大志	講義
9	2	解離症・身体症および関連症	俵積田大志	講義
10	2	神経発達症（発達障害）	俵積田大志	講義
11	2	食行動症および摂食症状	俵積田大志	講義
12	2	パーソナリティ症	俵積田大志	講義
13	2	秩序破壊的・衝動制御・素行症候群、性別違和（性別不合）	俵積田大志	講義
14	2	睡眠・覚醒障害	俵積田大志	講義
15	2	物質関連症および嗜癖症	俵積田大志	講義
16	2	てんかん	俵積田大志	講義
17	2	認知症	俵積田大志	講義
18	2	身体疾患と精神症状	俵積田大志	講義
19	2	検査・精神科医療と社会	俵積田大志	講義
20	2	まとめ	俵積田大志	講義

総括的評価

上記の内容を踏まえた筆記試験による評価

教科書：【電子版】こころの健康がみえる（メディックメディア medilink）

参考書：

その他の資料：都度配布

担当教員から

各々の障害の特徴を掴み、その原因や病態、予後、予防などを知っていくと面白い科目だと思う。覚えることも多いが、現場では患者さんの数は増え、理学療法士も接する機会が増えつつある。まず、この基礎を根底に勉強していけば、なぜこの治療が必要なのかがおのずと理解できると思う。

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

精神科における面接、評価、記録について学ぶ  
 精神科における薬物療法について学ぶ

(教育目標)

- ・精神科における治療的面接の知識、意味を理解する。
- ・精神科における評価スケジュールについて理解し、計画できるようになる。
- ・精神科における記録について学び、SOAPの記載方法を理解する。
- ・精神科の薬物療法において学び、その作用、副作用について理解する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	精神科におけるインテーク面接について	常田 つかさ	講義
2	2	インテーク面接時の着眼点について	常田 つかさ	講義
3	2	インテーク面接：グループ演習	常田 つかさ	演習
4	2	精神科における評価スケジュールの立て方	常田 つかさ	講義
5	2	精神科における記録（SOAP）	常田 つかさ	講義
6	2	薬物療法について	常田 つかさ	講義
7	2	薬物療法（抗精神薬と副作用）	常田 つかさ	講義
8	2	薬物療法（抗うつ薬、気分安定薬）	常田 つかさ	講義
9	2	薬物療法（精神刺激薬、抗不安薬、睡眠薬）	常田 つかさ	講義
10	2	薬物療法（抗認知症薬、アルコール使用障害治療薬、抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬他）	常田 つかさ	講義

総括的評価

演習課題、定期試験により成績評価を行う。

教科書：特に指定なし

参考書：リハベーシック薬理学・臨床薬理学第2版（医歯薬出版株式会社）  
 心のケアにたずさわる人が知っておきたい精神系のくすり（株式会社メディカ出版）

その他の資料：都度、作成して配布する

担当教員から

面接、記録、評価スケジュールについては疾患を問わず必要になる知識と技術です。また、向精神薬に関する知識は精神科に従事する職種として必須の知識となります。頑張って理解し覚えるようにしましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

1 年次 後期（1 単位：20 時間）

(授業概要)

胎児期から新生児期，乳児期，学童期から，青年期，老年期に至るまでの，身体的な発育・発達及び精神的な発達について基本的な課題を学び，それぞれの時期の発達の特徴を体系的に理解する。また，発育・発達に関係する因子と発達理論及び発達評価法の概略を学ぶ。

(教育目標)

- (1)発達は、身体面、心理面、社会面が生涯を通して変容していく過程であることを知る
- (2)発達段階と発達課題を理解する
- (3)さまざまな機能・能力ごとの経年的変化を理解する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	胎生期の発達について理解する。	渡 裕一	講義
2	2	胎生期から新生児期の発達について、正常な姿勢反射を理解する。	渡 裕一	講義
3	2	正常運動について、生下時からの発達から考えることができる。	渡 裕一	講義
4	2	姿勢反射・反応について、時期ごとに出現する反射・反応を理解できる。	渡 裕一	講義
5	2	姿勢反射・反応について、時期ごとに出現する反射・反応を理解でき、また手技として誘発でき	渡 裕一	講義
6	2	姿勢としての臥位の発達を理解できる。	渡 裕一	講義
7	2	姿勢としての臥位の発達を理解でき、運動に即した誘発手技を理解する。	渡 裕一	講義
8	2	姿勢としての座位の発達を理解できる。	渡 裕一	講義
9	2	姿勢としての座位の発達を理解でき、運動に即した誘発手技を理解する。	渡 裕一	講義
10	2	姿勢としての立位の発達を理解できる。運動に即した誘発手技を理解する。	渡 裕一	講義

総括的評価

全講義終了後の筆記試験にて判定

教科書：標準PTOT 人間発達学(医学書院) (医学書院デジタル教科書)

参考書：

その他の資料：

担当教員から

発達機能分野で大切になります しっかりと理解して行きましょう

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

小児科学は当初内科学の一分野として取り扱われたが、解剖学的な形態や生理学的機能は成人とほぼ同じでも、生体の発達および発育過程において発生する異常とか、獲得してゆく免疫機能にまつわる疾患を正しく理解し、早い時期に食い止めねばならない症状などを知っておかねばならない。さらに近年、出生前診断法が確立されるようになって新しい知見が要求されつつあり、これらを踏まえて現代の小児科学

(到達目標)

遺伝子解明によって、これまで難病・奇病とされていた原因不明の疾患が次々と明らかにされ、小児の奇形や先天性疾患の大半が遺伝子にまつわることがわかってきた、その実態を正しく把握し、出生後の治療ないしはリハビリによって社会的適応性を早期に見出せるような小児医学のありかた、近年の出生前診断および臓器移植にまつわる倫理観の養成にも言及したい。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	整形外科疾患：斜頸、側弯症、二分脊椎	西山 圭介	講義
2	2	整形外科疾患：発育性股関節形成不全、ヘルテス病、先天性内反足	西山 圭介	講義
3	2	整形外科疾患：骨端症、骨軟化症、くる病	西山 圭介	講義
4	2	新生児総論	田川 知恵子	講義
5	2	新生児：出生に伴う異常	田川 知恵子	講義
6	2	先天異常総論：単一遺伝子病、染色体異常、Doen症候群など	田川 知恵子	講義
7	2	先天性心疾患：心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファローの四徴候など	田川 知恵子	講義
8	2	糖代謝異常：糖尿病、低血糖症	田川 知恵子	講義
9	2	感染症総論：ウイルス感染症など	田川 知恵子	講義
10	2	まとめ（4回～9回）	田川 知恵子	講義
11	2	神経疾患：けいれん性疾患	中森 健二	講義
12	2	神経疾患：てんかん	中森 健二	講義
13	2	神経疾患：髄膜炎	中森 健二	講義
14	2	神経疾患：筋ジストロフィー	中森 健二	講義
15	2	神経疾患：水頭症	中森 健二	講義

総括的評価

終講後に筆記試験（85%）および課題提出（15%）を実施し合格者には単位を認定する。  
試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 小児科学(医学書院)（医学書院デジタル教科書）

参考書：最新育児・小児病学(改訂第6版・南江堂／黒田泰弘監修)

その他の資料：必要に応じてプリントを配布

担当教員から

小児疾患の症候はリハビリテーション領域で遭遇します。前向きな態度を望みます。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

リハビリテーション医学・医療・介護について総括的に述べる。リハビリテーションの概念、リハビリテーション医学・医療の歴史、リハビリテーション医療の流れ、病院・施設・地域におけるリハビリテーションの医療の課題と展望、リハビリテーションにおけるチームアプローチ、今日の問題などの教授を通じて専門職としてのあり方、役割を自ら考える素地を形成する。

(到達目標)

障害者や高齢者が社会の中で、その人らしく生活していく上で重要なリハビリテーション医学・医療の思想を理解し、医療専門職としての役割を実践するのに必要な知識と技術を身につけ、自ら考える基本を学習する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	リハビリテーションとは(語源・WHO定義、理念、歴史、ノーマライゼーションの考え方など)	立石 洋	講義 (グループワーク)
2	2	医療・保健・社会福祉とリハビリテーションの関わり方、医学的リハビリと職業・社会的リハビリの接点	立石 洋	講義
3	2	リハビリテーション・マインド(障害を診る心、社会復帰・社会参加を目指す・チームを大事になど)	立石 洋	講義 (グループワーク)
4	2	急性期・回復期・生活維持期のリハビリテーションについて	立石 洋	講義
5	2	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士とその役割	立石 洋	講義
6	2	リハビリテーション関連職種(義肢装具士、社会福祉士・介護支援専門員・介護福祉士など)	立石 洋	講義
7	2	多職種連携について(なぜ多職種連携が必要なのか)	立石 洋	講義 (グループワーク)
8	2	介護予防(介護保険の概要・介護予防の施策など)	立石 洋	講義
9	2	地域リハビリテーションと地域包括ケアシステム	立石 洋	講義
10	2	リハビリテーション概論まとめ	立石 洋	講義 (グループワーク)

総括的評価

終講後に筆記試験を実施し合格者には単位を認定する。

教科書：リハビリテーション総論改訂第3版 椿原 彰夫編著 (診断と治療社)

参考書：現代リハビリテーション医学、リハビリテーションビジュアルブック

その他の資料：必要に応じて資料配布

担当教員から

リハビリテーション医学・歴史・定義・概念を理解し、高齢者や障害者のある人がノーマライゼーションの思想の下で、生き生きと生活していくことを支援する専門職として、考える力を養う。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

1年次 後期（1単位：20時間）

(授業概要)

社会資源や社会保障、地域包括ケアシステム、リハビリテーション関連職、他職種連携について総括的に述べる。また、多職種連携において各々の状況における連携を想定し、専門職としてのあり方、役割を自ら考える素地を形成する。

(到達目標)

障害者や高齢者が社会の中で、その人らしく生活していく上で必要な制度、地域包括ケアシステム、他職種連携における役割を理解し、専門職として実践することに必要な知識と技術を身につけ、自ら考える基本を学習する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	評価の意義、重要性、進め方、	西山 圭介	講義
2	2	機能障害、能力低下と評価表	西山 圭介	講義
3	2	疾患と障害の関係(国際障害分類・国際生活機能分類、障害受容など)	西山 圭介	講義
4	2	疾患と障害の関係(国際障害分類・国際生活機能分類、障害受容など)②	西山 圭介	講義
5	2	廃用症候群について	西山 圭介	講義
6	2	廃用症候群について②	西山 圭介	講義
7	2	社会資源(福祉用具・補装具・治療用装具・義肢・日常生活用具・その他用具など)	西山 圭介	講義
8	2	社会保障(医療・福祉・介護保険・年金・労働保険など)	西山 圭介	講義
9	2	地域リハビリテーションと地域包括ケアシステム	西山 圭介	講義(グループワーク)
10	2	リハビリテーション概論まとめ	西山 圭介	講義(グループワーク)

総括的評価

終講後に筆記試験を実施し合格者には単位を認定する。定期試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：リハビリテーション総論改訂第3版 椿原 彰夫編著 (診断と治療社)

参考書：現代リハビリテーション医学、リハビリテーションビジュアルブック

その他の資料：必要に応じて資料配布

担当教員から

リハビリテーションに必要な制度やシステム、他職種連携の方法を知り、高齢者や障害者のある人がノーマライゼーションの思想の下で、生き生きと生活していくことを支援する専門職として考える力を養う。なおこの授業の内容は必要に応じて変更することがあります。

1年次：後期（2単位：30時間）

（授業概要）

リハビリテーション医学の目的は、病気や外傷により生じた障害を医学的に診断・治療し、機能回復と社会復帰を総合的に提供することである。リハビリテーション領域で対象となる主な疾患の病態を理解し、そのリハビリテーションがどのように進められるのか、要点を絞って解説する。

（教育目標）

リハビリテーション医学の基本的な知識を習得し、リハビリテーション対象疾患について理解を深め、リハビリテーションに対する自分の考えを持つことで今後の専門分野での学習の基礎を作る。  
「その人らしい状態での復帰」を目指して、連携の必要性および一貫したチーム医療を展開するリハ医学の重要性を理解する。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	疾患別リハビリテーション（脳卒中）	中森 健二	講義
2	2	疾患別リハビリテーション（脳卒中）	中森 健二	講義
3	2	疾患別リハビリテーション（パーキンソン病）	中森 健二	講義
4	2	疾患別リハビリテーション（パーキンソン病）	中森 健二	講義
5	2	疾患別リハビリテーション（脊髄小脳変性症）	中森 健二	講義
6	2	疾患別リハビリテーション（多発性硬化症）	藤村 勇人	講義
7	2	疾患別リハビリテーション（神経筋疾患）	藤村 勇人	講義
8	2	疾患別リハビリテーション（脊髄損傷）	藤村 勇人	講義
9	2	疾患別リハビリテーション（脊髄損傷）	藤村 勇人	講義
10	2	疾患別リハビリテーション（切断）	藤村 勇人	講義
11	2	疾患別リハビリテーション（運動器疾患・RA）	藤村 勇人	講義
12	2	疾患別リハビリテーション（外傷性脳損傷）	藤村 勇人	講義
13	2	疾患別リハビリテーション（脳性麻痺）	藤村 勇人	講義
14	2	疾患別リハビリテーション（循環器・呼吸器・がんなど）	藤村 勇人	講義
15	2	疾患別リハビリテーション（循環器・呼吸器・がんなど）	藤村 勇人	講義

総括的評価

終講後に筆記試験を実施し合格者には単位を認定する。  
試験の受験要件、実施方法などはカリキュラムガイダンスを参照。

教科書：PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論、椿原彰夫、診断と治療社

参考書：

その他の資料：

教科書の補足として、適宜、スライド配布資料、他ハンドアウトを配布することがあります。

担当教員から

他の授業と内容的に重複する部分が多いですが、知識の確認・整理ができるように、他の授業の教科書やファイルなども確認してください。

実務経験のある教員による実践的授業

--

1年次 前期（ 1単位： 20時間）

(授業概要)

作業療法の基礎となる哲学・概念・歴史を知り、作業療法士としての資質と適性について学ぶ。作業療法を学習するにあたって必要とされる一般基礎知識を解説し、作業療法の専門性を導入的に説明する。

(教育目標)

- ・作業療法にとっての作業の意味と役割を学び、その歴史的な位置づけを理解する。
- ・作業療法士の果たすべき社会的責任について理解する。
- ・作業療法理論について理解する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	作業療法とは①（作業とは、医学モデルと生活モデル）	常田つかさ	講義
2	2	作業療法とは②（作業の意味と範囲、作業の分類、作業療法の対象者）	常田つかさ	講義
3	2	作業療法の歴史（世界）	常田つかさ	講義
4	2	作業療法の歴史（日本）	常田つかさ	講義
5	2	作業療法の実践領域	常田つかさ	講義
6	2	作業療法士に求められる知識	常田つかさ	講義
7	2	多職種連携・インフォームドコンセント	常田つかさ	講義
8	2	作業療法の理論について	常田つかさ	講義
9	2	作業療法の目的と流れ	常田つかさ	講義
10	2	作業療法士カリキュラム（指定規則）・臨床実習について	常田つかさ	講義

総括的評価

定期試験による評価を行う。

教科書：標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論 第4版（医学書院）

参考書：

その他の資料：適宜プリントを配布

担当教員から

作業療法とは何か、それぞれの分野で働いている作業療法士の仕事、理論、職業倫理、リスク管理について学び、医療従事者としての知識や責任感を身に着けてほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

臨床経験を活かし、連携やインフォームドコンセントの必要については体験事例を通して講義する。また、臨床をイメージしやすいように卒後2～3年の卒業生（作業療法士）を招き、学生に実際の臨床経験を伝えてもらう機会を講義内に設ける（卒業生と語る会）。

1年次 後期（1単位：20時間）

(授業概要)

各分野の作業療法士が対象者にどのような治療をしているのか知る 作業療法士の教育課程について知る 医療領域における感染対策について知る 作業療法領域における研究、統計学的手法について学ぶ 災害時におけるリハビリテーションの役割について学ぶ
--

(教育目標)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法実践において基本的な一連の過程について理解する。</li> <li>・各分野や有事における作業療法士の役割について理解する。</li> <li>・作業療法領域における研究、統計学的手法について学び、エビデンスの重要性を理解する。</li> </ul>
---

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	各分野の作業療法士の役割：教員インタビューについて	常田 つかさ	講義
2	2	災害時におけるリハビリテーションの役割	常田 つかさ	講義
3	2	感染対策について	常田 つかさ	講義
4	2	各分野の作業療法士の役割：教員インタビュースライド作成・発表練習	常田 つかさ	演習
5	2	各分野の作業療法士の役割：教員インタビュー発表①	常田 つかさ	演習
6	2	各分野の作業療法士の役割：教員インタビュー発表②	常田 つかさ	演習
7	2	各分野の作業療法士の役割教員インタビュー発表③	常田 つかさ	演習
8	2	研究とは（研究の種類、エビデンスレベル、PICO/PECO）	常田 つかさ	講義
9	2	研究の種類、統計について	常田 つかさ	講義
10	2	統計学的手法、統計分析について	常田 つかさ	講義

総括的評価

教員インタビューの内容（インタビューのアポイント、インタビュー中の様子、発表スライド、発表中の声の大きさ、聴講態度）と定期試験によって判定する（その他レポートを課す可能性もある）
---

教科書：標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論 第4版（医学書院）
------------------------------------

参考書：
------

その他の資料：都度配布する。
----------------

担当教員から

教員へのインタビューを通し、能動的に学び、それをまとめ、各自発表してもらいます。また、作業療法の研究の側面、エビデンスの大切さについても学んでください。
--

実務経験のある教員による実践的授業

自身の研究、学会発表の経験を通してエビデンスの重要性、発表資料のまとめ方について伝える。また臨床で得た感染対策の重要性について実技を交えて講義を行う。
---

1 年次 前期（1 単位：30 時間）

（授業概要）

作業療法の「作業」とは何かを理解する。  
 作業療法と作業・作業分析の関係と仕組みを学習する。

（教育目標）

人間の健康な生活と作業とのかかわりを知り、作業療法で使う作業はどのように使われているのか。作業が治療、療法となりうる観点を総括的に学ぶ。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	作業とは	常田 つかさ	講義
2	2	陶芸を用いた作業療法	俵積田 大志	講義
3	2	革細工を用いた作業療法	俵積田 大志	講義
4	2	革細工①	俵積田 大志	演習
5	2	革細工②	俵積田 大志	演習
6	2	貼り絵（はがきサイズ：個人作業）①	常田 つかさ	演習
7	2	貼り絵（はがきサイズ：個人作業）②	常田 つかさ	演習
8	2	貼り絵（模造紙半：集団作業）②	常田 つかさ	演習
9	2	貼り絵（模造紙半：集団作業）①	常田 つかさ	演習
10	2	個人、集団で貼り絵を実施し、どのような違いがあったか（レポート作成）	常田 つかさ	演習
11	2	陶芸、革細工、貼り絵の活動を通してどのようなリスクがあるか協議し、まとめる（Gワーク）	常田 つかさ	演習
12	2	陶芸、革細工、貼り絵の活動を通してどのようなリスクがあるか発表する	常田 つかさ	演習
13	2	木工を用いた作業療法	俵積田 大志	講義
14	2	木工①	俵積田 大志	演習
15	2	木工②	俵積田 大志	演習

総括的評価

作業に対する取り組み、レポート内容、提出状況にて評定する。

教科書：標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第4版 医学書院

参考書：

その他の資料：

担当教員から

作業を体験しながら、リスク、必要な心身機能に気づけるよう、教示していきます。

実務経験のある教員による実践的授業

現場の活動で対象者を通しての経験を学生に実際作業を通して説明を行い、ただ作業をすればいいということではなく、分析の視点取り入れて授業を進めていく。

2年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

作業活動の治療的意義を学ぶ。趣味的活動、ADL活動の活動分析を行い、その活動に必要な身体機能、精神機能を整理する。

(教育目標)

- ・作業活動に必要な身体機能、精神機能を列挙でき、治療的意義を理解する。
- ・様々な活動の実体験を通して活動分析を行い、体験した活動以外にもその思考を応用できる。
- ・グループワークを通して、多角的な視点で作業活動をとらえることができる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	作業活動の治療的意義・活動分析（作業分析）とは	常田 つかさ	講義
2	2	活動分析演習①園芸-計画-	常田 つかさ	演習
3	2	活動分析演習①園芸-実施-	常田 つかさ	演習
4	2	活動分析演習①園芸-活動分析-グループ	常田 つかさ	演習
5	2	活動分析演習①園芸-活動分析-グループ	常田 つかさ	演習
6	2	活動分析演習①園芸-グループ発表-	常田 つかさ	演習
7	2	活動分析演習①園芸-グループ発表-	常田 つかさ	演習
8	2	活動分析演習②パズル-実施と活動分析- 個人	常田 つかさ	演習
9	2	活動分析演習②パズル-実施と活動分析- グループ	常田 つかさ	演習
10	2	活動分析演習③洗濯-実施と活動分析-個人	常田 つかさ	演習
11	2	活動分析演習③洗濯-実施と活動分析-グループ	常田 つかさ	演習
12	2	活動分析演習④折り紙-実施と活動分析-個人	常田 つかさ	演習
13	2	活動分析演習④折り紙-実施と活動分析-グループ	常田 つかさ	演習
14	2	活動分析まとめ①	常田 つかさ	講義
15	2	活動分析まとめ②	常田 つかさ	講義

総括的評価

グループワーク発表、個人レポート課題から評価

教科書：なし

参考書：

その他の資料：適宜プリントを配布

担当教員から

いくつかの作業活動の体験、活動分析を通して、作業活動の治療的な側面を理解してほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

実際の臨床で提供していた作業活動を具体例を交えて講義を行う。

1年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

作業について治療効果や作業種目を治療する視点で考えられる。また、作業を分析し、治療する際の作業について根拠を理解する。作業活動の理解と治療に応用する要因を明らかにする。

(教育目標)

- ・作業の治療効果を考えながら自ら作業について積極的に興味を持ち活動種目を多く経験する。
- ・作業を経験し、治療効果について自ら説明できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	陶芸（概論1）	村岡 良寛	演習
2	2	陶芸（土練り1）	村岡 良寛	演習
3	2	陶芸（土練り2）	村岡 良寛	演習
4	2	陶芸（手捻り）	村岡 良寛	演習
5	2	陶芸（ろくろ）	村岡 良寛	演習
6	2	陶芸（素焼き）	村岡 良寛	演習
7	2	陶芸（色絵つけ）	村岡 良寛	演習
8	2	陶芸（本焼）	村岡 良寛	演習
9	2	陶芸（窯だし まとめ）	村岡 良寛	演習
10	2	陶芸（まとめ）	村岡 良寛	演習

総括的評価

作品をもって、期限内に提出できることや完成させること。  
協力すべき時に相手のことも考えて行動できるかどうか。グループ活動での様子。

教科書：なし

参考書：

その他の資料：

担当教員から

作業活動を共にするなかで意見交換や発言する場面が増えるよう望む。また、作業療法はまだ理解できなくても人との寄り添い方や協力することの大切さを学び取ってほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

1年次 後期（1単位：30時間）

(授業概要)

作業療法の「作業」とは何かを理解する。  
 作業療法と作業・作業分析の関係と仕組みを学習する。

(教育目標)

- ・構成的作業と投影的作業の違いを説明できる。
- ・作業の途中で困難が生じる場面の予測ができる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	投影的作業の体験（貝がら、シーグラスを用いて）材料集め①	俵積田 大志	演習
2	2	投影的作業の体験（貝がら、シーグラスを用いて）作品作り①	俵積田 大志	演習
3	2	投影的作業とは（自分と他者の違いを知る）レポート作成	俵積田 大志	演習
4	2	タイルモザイク コースターづくり①	常田つかさ	演習
5	2	タイルモザイク コースターづくり②	常田つかさ	演習
6	2	工程の整理、使用した道具の名称、リスク管理についてレポート作成	常田つかさ	演習
7	2	ペーパークラフト①	俵積田 大志	演習
8	2	ペーパークラフト②	俵積田 大志	演習
9	2	ペーパークラフト③どの工程が難しいのか、それはなぜなのか分析する。レポート作成	俵積田 大志	演習
10	2	刺し子①デザイン考案	常田つかさ	演習
11	2	刺し子②	常田つかさ	演習
12	2	刺し子③	常田つかさ	演習
13	2	非利き手で作業をしてみる（塗り絵）①	俵積田 大志	演習
14	2	非利き手で作業をしてみる（塗り絵）②やってみて何が大変だったのかレポート作成	俵積田 大志	演習
15	2	非利き手で作業をしてみる（塗り絵）③	俵積田 大志	演習

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
 全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
 各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第4版 医学書院

参考書：

その他の資料：

担当教員から

作業は楽しいこと。それが作業療法の原動力になることを実際の体験を通して実感することを狙いとする。

実務経験のある教員による実践的授業

様々な作業には分類、特徴がある。それを治療として用いるためには、「やった」という体験だけでなく「どのように行ったのか」「何を使ったのか」「何が難しかったのか」を、自身の経験をもとに振りかえり、認識していく必要がある。この学びを2年次の作業分析につなげてほしい。

授業科目名: 作業療法管理学

担当教員: 黒木 辰朗

1年次 後期(2単位: 30時間)

(授業概要)

保健・医療・福祉に関する制度を理解する  
組織運営に関するマネジメント能力を養い、作業療法倫理・作業療法教育についての理解を深める

(教育目標)

保健・医療・福祉に関する制度を理解することができる  
組織運営に関するマネジメント能力について理解する  
作業療法倫理・作業療法教育について理解する

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	診療報酬の仕組み(身体障害領域1)	黒木 辰朗	講義
2	2	診療報酬の仕組み(身体障害領域2)	黒木 辰朗	講義
3	2	診療報酬の仕組み(身体障害領域3)	黒木 辰朗	講義
4	2	診療報酬の仕組み(精神障害領域1)	黒木 辰朗	講義
5	2	診療報酬の仕組み(精神障害領域2)	黒木 辰朗	講義
6	2	診療報酬の仕組み(精神障害領域3)	黒木 辰朗	演習
7	2	訪問リハビリテーション(介護保険制度1)	黒木 辰朗	演習
8	2	訪問リハビリテーション(介護保険制度2)	黒木 辰朗	演習
9	2	訪問リハビリテーション(医療保険制度1)	黒木 辰朗	講義
10	2	訪問リハビリテーション(医療保険制度2)	黒木 辰朗	講義
11	2	作業療法部門の管理(リスク管理と業務管理1)	黒木 辰朗	講義
12	2	作業療法部門の管理(リスク管理と業務管理2)	黒木 辰朗	講義
13	2	リスク管理1	黒木 辰朗	講義
14	2	リスク管理2	黒木 辰朗	講義
15	2	まとめ	黒木 辰朗	講義

総括的評価

レポート課題など総合的に判定します。

教科書: 標準PTOTST別巻 リハビリテーション管理学(医学書院)

参考書:

その他の資料: 適宜プリントを配布します

担当教員から

実習で大事な部分になります しっかりと学んでいきましょう

実務経験のある教員による実践的授業

実務経験のある教員が実際現場の経験や知識を教授する。

1年次 後期（1単位：20時間）

(授業概要)

・作業療法領域共通の評価法の学習、演習の理解。

(教育目標)

・作業療法領域共通の評価法を習得する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	introduction, 作業療法評価とは	宇都 未佑	講義
2	2	精神機能の評価, バイタルサイン	宇都 未佑	講義
3	2	感覚	宇都 未佑	講義
4	2	関節可動域①	宇都 未佑	講義
5	2	関節可動域②	宇都 未佑	講義
6	2	筋力①	宇都 未佑	講義
7	2	筋力②	宇都 未佑	講義
8	2	筋緊張	宇都 未佑	講義
9	2	姿勢と反射	宇都 未佑	講義
10	2	その他、臨床でよく用いられる評価について (TUGなど)	宇都 未佑	講義

総括的評価

筆記試験にて6割以上を合格とします。

教科書：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学  
標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学

参考書：

その他の資料：

担当教員から

初めての評価の具体的な勉強になります。しっかりと学習しましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

評価の基礎を踏まえて実際現場の経験や知識を教授する。

2年次 前期（1単位：20時間）

（授業概要）

作業療法士として、評価の目的と内容の理解が臨床の現場でスムーズで正確な評価がより良い治療につながるため各章の評価を理解する。

（教育目標）

身体機能と各領域の専門的な評価の理解と評価方法の理解する。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	上肢機能の評価	宇都 未佑	講義
2	2	麻痺の評価	山下 孔明	講義
3	2	摂食・嚥下の評価/高次脳機能障害の評価①	山下 孔明	講義
4	2	高次脳機能障害の評価②	山下 孔明	講義
5	2	高次脳機能障害の評価③	山下 孔明	講義
6	2	日常生活活動（ADL）の評価 ※B.I, FIM含む	山下 孔明	講義
7	2	福祉用具・自助具について	宇都 未佑	講義
8	2	社会生活の評価	宇都 未佑	講義
9	2	QOLの評価	宇都 未佑	講義
10	2	その他、臨床でよく用いられる評価について（TUGなど）	宇都 未佑	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：作業療法学 ゴールドマスターテキスト 作業療法評価学（メジカルビュー）

参考書：

その他の資料：各種文献等を参考に、担当にて資料を作成する。  
作業療法士国家試験過去問（宅ドリ）

担当教員から

身体機能評価については、基礎となる運動学、解剖学、生理学の理解と各疾患の原因と評価、適切な治療の選択となるため、基礎と評価、治療方法の理解が出来るように授業に努めます。

実務経験のある教員による実践的授業

各疾患の評価をするにあたり、まずは疾患の知識をしっかりと習得できるよう、現場での経験の内容を織り交ぜながら教授する。

授業科目名：身体機能評価法実習

担当教員： 宇都 未佑  
山下 孔明  
後谷 直樹

2年次 前期（2単位：60時間）

(授業概要)

作業療法士として、評価について理解したうえで実践的な治療技術について学ぶ。

(教育目標)

各評価の実技、体験を通して患者様への説明や評価法を理解し実践できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	上肢機能の評価（STEF）；内容の説明と実習	宇都 未佑	実習
2	2	肩関節周囲炎の評価/手指の変形性関節症の評価；内容の説明と実習	宇都 未佑	実習
3	2	変形性股関節症/変形性膝関節症の評価；内容の説明と実習	宇都 未佑	実習
4	2	廃用症候群の評価/その他評価（TUGなど）；内容の説明と実習	宇都 未佑	実習
5	2	脊髄損傷の評価とは	後谷 直樹	講義
6	2	脊髄損傷の評価	後谷 直樹	実習
7	2	小脳疾患とは	後谷 直樹	実習
8	2	小脳疾患の評価①	後谷 直樹	講義
9	2	小脳疾患の評価②	後谷 直樹	実習
10	2	パーキンソン病の評価；内容の説明と実習	山下 孔明	講義
11	2	脳血管障害の評価①	山下 孔明	実習
12	2	脳血管障害の評価②	山下 孔明	講義
13	2	高次脳機能障害の評価①	山下 孔明	実習
14	2	高次脳機能障害の評価②	山下 孔明	講義
15	2	動作分析①動作分析とは	山下 孔明	実習
16	2	動作分析②記録演習	山下 孔明	実習
17	2	動作分析③記録演習	山下 孔明	実習
18	2	動作分析④記録演習	山下 孔明	実習
19	2	評価演習：脳血管障害（高次脳機能障害を含む）事例提示；評価スケジュールの作成	山下 孔明	実習
20	2	評価演習：脳血管障害（高次脳機能障害を含む）事例提示；目標設定	山下 孔明	実習
21	2	評価演習：脳血管障害（高次脳機能障害を含む）事例提示；プログラム立案	山下 孔明	実習
22	2	評価演習：脳血管障害（高次脳機能障害を含む）事例提示；評価実技演習①	山下 孔明	実習
23	2	評価演習：脳血管障害（高次脳機能障害を含む）事例提示；評価実技演習②	山下 孔明	実習
24	2	評価演習：変性疾患 事例提示；評価スケジュールの作成	宇都 未佑	実習
25	2	評価演習：変性疾患 事例提示；目標設定・プログラム立案	宇都 未佑	実習
26	2	評価演習：変性疾患 事例提示；評価実技演習①	宇都 未佑	実習
27	2	評価演習：変性疾患 事例提示；評価実技演習②	宇都 未佑	実習
28	2	評価演習：整形疾患 事例提示；評価スケジュール作成	宇都 未佑	実習
29	2	評価演習：整形疾患 事例提示；目標設定プログラム立案	宇都 未佑	実習
30	2	評価演習：整形疾患 事例提示；評価実技演習③	宇都 未佑	実習

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通知する。

教科書：作業療法学 ゴールドマスターテキスト 作業療法評価学 メディックメディア

参考書：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版 医学書院

その他参考資料：作業療法士国家試験過去問（宅ドリ）

担当教員から

各疾患に必要な評価項目を列挙でき、評価スケジュールを組む、またその評価技術の修得を目標としています。実技も多いですが、頑張りましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

実際に疾患担当経験のある教員が、それぞれの体験事例を基に講義を行う。

1年次 後期（1単位：20時間）

(授業概要)

精神機能評価の基礎理論と代表的な評価法を学び、観察や面接を通して対象者の精神機能を把握し、作業療法に活用する基礎的能力を養う。

(教育目標)

精神機能評価の基礎的知識を理解し、観察・面接および基本的評価法を用いて対象者の精神機能を適切に捉え、作業療法につなげる基礎的能力と倫理的態度を身につける。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	作業をもちいる療法の特性①	谷口慶子	講義
2	2	作業をもちいる療法の特性②	谷口慶子	講義
3	2	作業をもちいる療法の特性③	谷口慶子	講義
4	2	作業療法の治療・支援構造と治療機序①	谷口慶子	講義
5	2	作業療法の治療・支援構造と治療機序②	谷口慶子	講義
6	2	作業療法の治療・支援構造と治療機序③	谷口慶子	講義
7	2	作業療法の治療・支援構造と治療機序④	谷口慶子	講義
8	2	作業療法の治療・支援構造と治療機序⑤	谷口慶子	講義
9	2	作業療法の治療・支援構造と治療機序⑥	谷口慶子	講義
10	2	まとめ	谷口慶子	講義

総括的評価

上記を踏まえた筆記試験による評価(100%)

教科書：精神障害と作業療法 新版：山根 寛【三輪書店】 電子書籍

参考書：精神機能作業療法学 第4版 【医学書院】 電子書籍

その他の資料：

担当教員から

実際に対象者と接したことがないので、イメージすることも難しいと思いますが、出来るだけ実際に即して共に考えていきたいと思う。学生諸氏も自分の課題としてとらえてほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

評価とは何かを理解し、面接をするときの注意すべきポイントを作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が教授する。その際、実例に対して学生がどう対応するかを学生同士で検討することで、実際のイメージを獲得していく。

2年次 前期（ 1単位：20時間）

(授業概要)

精神機能評価の応用として、標準化評価や事例分析を通して精神機能を多面的に評価し、その結果を基に臨床推論を行い、作業療法評価・介入へ統合する力を養う。

(教育目標)

精神機能評価の応用として、標準化評価を通して精神機能を多面的に評価し、その結果を基に臨床推論を行い、作業療法評価・介入へ統合する力を養う。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	作業療法の手順①手順－基本の流れ	谷口慶子	講義
2	2	作業療法の手順②評価－知る作業その①	谷口慶子	講義
3	2	作業療法の手順③評価－知る作業その②	谷口慶子	講義
4	2	作業療法の手順④計画－個人プログラムの作成、効果－アウトカムの評価	谷口慶子	講義
5	2	作業療法の実践①作業療法がおこなわれる場所、急性期作業療法	谷口慶子	講義
6	2	作業療法の実践②地域移行支援と作業療法、地域生活支援と作業療法	谷口慶子	講義
7	2	作業療法の実践③緩和期の作業療法、就労支援と作業療法	谷口慶子	講義
8	2	作業療法の実践④児童精神障害と作業療法	谷口慶子	講義
9	2	作業療法の実践⑤老年期と作業療法	谷口慶子	講義
10	2	作業療法の実践⑥司法精神医療と作業療法	谷口慶子	講義

総括的評価

上記を踏まえた筆記試験による評価（100%）

教科書：精神障害と作業療法 新版：山根 寛【三輪書店】 電子書籍

参考書：精神機能作業療法学 第4版 【医学書院】 電子書籍

その他の資料：

担当教員から

評価実習に備えて、何をどのように行うかをできる限りイメージし、スムーズな実習にして欲しいと思います。

実務経験のある教員による実践的授業

関与しながらの観察・面接が作業療法士としての最も基本的な技術となる。そこで作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員がそのコツを教授し、否定的な側面ばかりではなく、肯定的側面を作業療法の中に生かしていく視点を教授する。

2年次 前期（2単位：60時間）

(授業概要)

精神機能評価法実習では、作業療法に必要な精神機能（認知・情動・行動など）の評価方法について、講義および実技を通して習得する。代表的な評価スケールや面接技法、観察の視点を学び、臨床で適切に活用できる基礎的能力を養う。

(教育目標)

精神機能の構成要素（認知・感情・社会性など）を理解できる  
 各種評価法（面接、観察、標準化検査）の目的・方法を説明できる  
 対象者に応じた適切な評価を選択・実施できる  
 評価結果を統合し、作業療法の視点から解釈できる

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	総合評価①	谷口慶子	講義
2	2	総合評価②	谷口慶子	講義
3	2	総合評価③	谷口慶子	講義
4	2	総合評価④	谷口慶子	講義
5	2	総合評価⑤	谷口慶子	講義
6	2	統合失調症および他の一次性精神症群の作業療法評価①	谷口慶子	講義
7	2	統合失調症および他の一次性精神症群の作業療法評価②	谷口慶子	講義
8	2	統合失調症および他の一次性精神症群の作業療法評価③	谷口慶子	実習
9	2	気分症群（抑うつ症群、双極症および関連症群）の作業療法評価①	谷口慶子	講義
10	2	気分症群（抑うつ症群、双極症および関連症群）の作業療法評価②	谷口慶子	実習
11	2	不安および恐怖関連症群、強迫症および関連症群、解離症群、身体的苦痛症または身体的体験症群の作業療法評価①	谷口慶子	講義
12	2	不安および恐怖関連症群、強迫症および関連症群、解離症群、身体的苦痛症または身体的体験症群の作業療法評価②	谷口慶子	実習
13	2	食行動および摂食症群の作業療法評価①	谷口慶子	講義
14	2	食行動および摂食症群の作業療法評価②	谷口慶子	実習
15	2	物質使用症または思考行動症群の作業療法評価①	谷口慶子	講義
16	2	物質使用症または思考行動症群の作業療法評価②	谷口慶子	実習
17	2	パーソナリティ症および関連特性群の作業療法評価①	谷口慶子	講義
18	2	パーソナリティ症および関連特性群の作業療法評価②	谷口慶子	実習
19	2	神経発達症群の作業療法評価①	谷口慶子	講義
20	2	神経発達症群の作業療法評価②	谷口慶子	実習
21	2	認知機能障害における作業療法の作業療法評価①	谷口慶子	講義
22	2	認知機能障害における作業療法の作業療法評価②	谷口慶子	実習
23	2	身体合併症の作業療法評価①	谷口慶子	講義
24	2	身体合併症の作業療法評価②	谷口慶子	実習
25	2	発達障害の作業療法評価①	谷口慶子	講義
26	2	発達障害の作業療法評価②	谷口慶子	実習
27	2	事例検討①	谷口・栗田・橋本	実習
28	2	事例検討②	谷口・栗田・橋本	実習
29	2	事例検討③	谷口・栗田・橋本	実習
30	2	事例検討④	谷口・栗田・橋本	実習

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
 全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。

教科書：標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第4版<医学書院eテキスト>

参考書：精神科リハビリテーション評価法ハンドブック 中外医学社 早坂友成 他

その他の資料：

担当教員から

評価バッテリーの講義と実際の演習を通して、一通り実践してみることで何が分からないかを具体的に挙げ、グループ内のディスカッションを行うことでより理解しやすくなると思う。

実務経験のある教員による実践的授業

実習で行うことの多い評価バッテリーを優先的に行うことで学生により利益のあるものにしていく。

1年次 後期（ 2単位： 30時間）

(授業概要)

身体機能分野の治療の基礎を学ぶ

(教育目標)

臨床現場や国家試験で頻出する分野であり各分野について治療方法や禁忌事項について学ぶ。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	関節可動域の維持、拡大	宇都 未佑	講義
2	2	筋力と筋持久力の維持、増強	宇都 未佑	講義
3	2	筋緊張の異常とその治療	宇都 未佑	講義
4	2	不随意運動とその治療	宇都 未佑	講義
5	2	協調運動障害とその治療	宇都 未佑	講義
6	2	感覚・知覚再教育	宇都 未佑	講義
7	2	廃用症候群とその対応	宇都 未佑	講義
8	2	物理療法の基礎	宇都 未佑	講義
9	2	骨折の治療と作業療法①上肢～手指	宇都 未佑	講義
10	2	骨折の治療と作業療法②上肢～手指/体幹	宇都 未佑	講義
11	2	骨折の治療と作業療法③下肢	宇都 未佑	講義
12	2	上肢の末梢神経損傷と作業療法①	宇都 未佑	講義
13	2	上肢の末梢神経損傷と作業療法②	宇都 未佑	講義
14	2	腱損傷と作業療法①（手指腱損傷）	宇都 未佑	講義
15	2	腱損傷と作業療法②（腱板断裂）	宇都 未佑	講義

総括的評価

筆記試験にて6割以上で合格とします。

教科書：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学

参考書：

その他参考資料：作業療法士国家試験過去問（宅ドリ）

担当教員から

初めての治療の具体的な勉強になります。しっかりと学習しましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

関節可動域や筋力などの治療のベースになるものである。現場で多くの疾患で必要とされる患者様の各々の特徴・治療方法を教授する。

2年次 前期（ 1単位： 20時間）

(授業概要)

身体機能分野の各疾患ごとの治療の基礎を学ぶ

(教育目標)

臨床現場や国家試験で頻出する分野であり各分野について治療方法や禁忌事項について学ぶ。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	関節リウマチの治療と作業療法	宇都 未佑	講義
2	2	全身性エリテマトーデス, 多発性筋炎, 皮膚筋炎の治療と作業療法	宇都 未佑	講義
3	2	熱傷の治療と作業療法	宇都 未佑	講義
4	2	腰椎症の治療と作業療法	宇都 未佑	講義
5	2	脳血管障害の治療と作業療法：急性期	山下 孔明	講義
6	2	脳血管障害の治療と作業療法：回復期	山下 孔明	講義
7	2	脳血管障害の治療と作業療法：維持期	山下 孔明	講義
8	2	頭部外傷の治療と作業療法	山下 孔明	講義
9	2	摂食嚥下障害の治療について	山下 孔明	講義
10	2	廃用症候群の作業療法	宇都 未佑	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
 全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
 各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学（メディカルビュー）

参考書：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版（医学書院）

その他参考資料：作業療法士国家試験過去問（宅ドリ）

担当教員から

臨床でよく目にする疾患です 興味を持って積極的に取り組んで行って下さい

実務経験のある教員による実践的授業

神経難病に対する作業療法の概要理解と主に臨床で行われている評価の実際を、作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が教授する。  
 講義では基礎的な知識から、臨床での経験を活かした事例紹介を通じた実践的評価治療についても教授する。

授業科目名：身体機能治療学実習

担当教員： 宇都 未佑  
後谷 直樹  
追立 竜万  
島元 智浩  
山下 孔明

2年次 後期（2単位：80時間）

(授業概要)

作業療法士として、治療理論について理解したうえで実践的な治療技術について学ぶ。

(教育目標)

各治療の実技、体験を通して患者様への説明や治療法を理解し実践できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	肩関節周囲炎/手指の変形性関節症の作業療法①：事例学習	宇都 未佑	演習
2	2	肩関節周囲炎/手指の変形性関節症の作業療法②：事例学習	宇都 未佑	演習
3	2	変形性股関節症/変形性膝関節症の作業療法①：事例学習	宇都 未佑	演習
4	2	変形性股関節症/変形性膝関節症の作業療法②：事例学習	宇都 未佑	演習
5	2	熱傷の治療と作業療法：事例学習	宇都 未佑	演習
6	2	腰椎症/ギランバレー症候群の治療と作業療法：事例学習	宇都 未佑	演習
7	2	多発性硬化症/重症筋無力症の治療と作業療法：事例学習	宇都 未佑	演習
8	2	パーキンソン病の治療と作業療法：事例学習	後谷 直樹	演習
9	2	筋萎縮性側索硬化症の治療と作業療法	後谷 直樹	演習
10	2	脊髄損傷の作業療法①事例学習	後谷 直樹	演習
11	2	脊髄損傷の作業療法②事例学習	後谷 直樹	演習
12	2	脊髄損傷の作業療法③事例学習	後谷 直樹	演習
13	2	脊髄小脳変性症の治療と作業療法①事例学習	後谷 直樹	演習
14	2	脊髄小脳変性症の治療と作業療法②事例学習	後谷 直樹	演習
15	2	糖尿病の治療と作業療法	後谷 直樹	演習
16	2	腎疾患の治療と作業療法	後谷 直樹	演習
17	2	心疾患の治療と作業療法①	追立 竜万	講義
18	2	心疾患の治療と作業療法②	追立 竜万	講義
19	2	呼吸器疾患の治療と作業療法①	追立 竜万	講義
20	2	呼吸器疾患の治療と作業療法②	追立 竜万	講義
21	2	悪性腫瘍の治療と作業療法①	島元 智浩	講義
22	2	悪性腫瘍の治療と作業療法②	島元 智浩	講義
23	2	悪性腫瘍の治療と作業療法③	島元 智浩	講義
24	2	ターミナルの作業療法	島元 智浩	講義
25	2	脳血管障害の治療①	山下 孔明	講義/演習
26	2	脳血管障害の治療②	山下 孔明	講義/演習
27	2	脳血管障害の治療③	山下 孔明	講義/演習
28	2	脳血管障害の治療④	山下 孔明	講義/演習
29	2	脳血管障害（高次脳機能障害含む）事例提示：評価スケジュール作成/目標設定	山下 孔明	演習
30	2	脳血管障害（高次脳機能障害含む）事例提示：プログラム立案・実施（実技演習①）	山下 孔明	演習
31	2	脳血管障害（高次脳機能障害含む）事例提示：プログラム立案・実施（実技演習②）	山下 孔明	演習
32	2	変性疾患 事例提示：評価スケジュール作成/目標設定	宇都 未佑	演習
33	2	変性疾患 事例提示：プログラム立案・実施（実技演習）	宇都 未佑	演習
34	2	変性疾患 事例提示：プログラム立案・実施（実技演習）	宇都 未佑	演習
35	2	吸引・喀痰について	山下 孔明	講義
36	2	吸引・喀痰：実技演習①	山下 孔明	演習
37	2	吸引・喀痰：実技演習②	山下 孔明	演習
38	2	その他：実技演習	宇都 未佑	演習
39	2	その他：実技演習	宇都 未佑	演習
40	2	その他：実技演習	宇都 未佑	演習

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学（メディカルビュー）

参考書：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版（医学書院）

その他の資料：作業療法士国家試験過去問（宅ドリ）  
適宜プリントを配布

担当教員から

事例検討、実技演習が多い科目となる。それぞれの疾患に対する基礎知識を復習しつつ、臨床実習、国家試験に向けての実践的な作業療法について学んでほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

実際に疾患担当経験のある教員が、それぞれの体験事例を基に講義を行う。

1 年次 後期（2 単位：30 時間）

(授業概要)

- ・精神科作業療法の概念および実践方法の概要を理解する。
- ・回復過程における、精神科作業療法の目的や役割を理解する。

(教育目標)

- ・精神機能作業療法学の基礎について学び、対象者の理解と実践方法を一般的枠組みを踏まえて学習する。
- ・回復段階ごとの作業療法の違いについて説明できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	精神機能作業療法の基本的視点	依積田大志	講義
2	2	精神保健福祉と作業療法	常田つかさ	講義
3	2	精神機能作業療法の理論と実践モデル	依積田大志	講義
4	2	回復過程と作業療法	常田つかさ	講義
5	2	前駆期～急性期の作業療法	常田つかさ	講義
6	2	回復期～維持期の作業療法	依積田大志	講義
7	2	地域生活における作業療法の視点	依積田大志	講義
8	2	認知機能障害における作業療法①	常田つかさ	講義
9	2	認知機能障害における作業療法②	常田つかさ	講義
10	2	身体合併症における作業療法①	常田つかさ	講義
11	2	身体合併症における作業療法②	常田つかさ	講義
12	2	退院支援、就労支援、復職支援における作業療法①	依積田大志	講義
13	2	退院支援、就労支援、復職支援における作業療法②	依積田大志	講義
14	2	地域生活支援における作業療法	依積田大志	講義
15	2	司法精神医療における作業療法	常田つかさ	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第4版 医学書院  
精神障害と作業療法 新版 山根寛 三輪書店

参考書：

その他の資料：

担当教員から

精神機能分野ならではの視点を理解すること、精神疾患の回復過程と作業療法の大まかな内容を把握できるよう、事例の紹介やグループ討議などをふまえて理解を進めていく。

実務経験のある教員による実践的授業

作業療法士として臨床経験で学んだ現場での作業療法活動の流れや、患者様の各々の特徴・治療方法を教授する。

2年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

・精神機能作業療法の理論・モデル・関連療法について学ぶ。

(教育目標)

・精神機能作業療法を実践するうえでの基となる考え方や、他の治療法との関連性について説明することができる。  
 ・疾患によって適する治療法が異なることを理解する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	精神機能作業療法の理論・モデル	依積田 大志	講義
2	2	精神機能作業療法の理論体系	依積田 大志	講義
3	2	生活機能論・治療構造論	依積田 大志	講義
4	2	回復モデル・治療システム論	依積田 大志	講義
5	2	力動論・発達学習理論と作業療法・ひと作業理論	依積田 大志	講義
6	2	身体療法・精神療法	依積田 大志	講義
7	2	心理教育・行動療法（トークンエコノミー含む）・認知行動療法（NEARなども含む）	依積田 大志	講義
8	2	生活技能訓練・芸術療法	依積田 大志	講義
9	2	園芸療法・回想法	依積田 大志	講義
10	2	レクリエーション療法・家族療法など	依積田 大志	講義

総括的評価

上記を踏まえた筆記試験による評価

教科書：精神障害と作業療法 新版 山根寛

参考書：

その他の資料：都度、作成して配布する

担当教員から

1年次の精神医学・臨床心理学・精神機能治療学Ⅰの知識をもとに、各疾患に対する治療方法や精神科作業療法のベースになる考え方を抑えていきましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

作業療法士として臨床経験で学んだ現場での作業療法活動の流れや、患者様の各々の特徴・治療方法を教授する。

授業科目名：精神機能治療学実習

担当教員： 依積田 大志  
常田 つかさ

2年次 後期（2単位：60時間）

(授業概要)

各疾患の概要と治療法、作業療法についてグループで調べ学習を行い、資料を作成することで、理解を深めていく。

(教育目標)

・各疾患の治療法を説明することができる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	統合失調症の作業療法についてQ&A作成	常田 つかさ	演習
2	2	統合失調症の作業療法について講義	常田 つかさ	講義
3	2	各疾患についての資料作成①	依積田 常田	演習
4	2	各疾患についての資料作成②	依積田 常田	演習
5	2	各疾患についての資料作成③	依積田 常田	演習
6	2	気分障害についてのQ&A作成	常田 つかさ	演習
7	2	気分障害についての講義	常田 つかさ	講義
8	2	不安障害についてのQ&A作成	依積田 大志	演習
9	2	不安障害についての講義	依積田 大志	講義
10	2	強迫性障害についてのQ&A作成	常田 つかさ	演習
11	2	強迫性障害についての講義	常田 つかさ	講義
12	2	摂食障害についてのQ&A作成	依積田 大志	演習
13	2	摂食障害についての講義	依積田 大志	講義
14	2	依存症についてのQ&A作成	常田 つかさ	演習
15	2	依存症についての講義	常田 つかさ	講義
16	2	パーソナリティ障害についてのQ&A作成	依積田 大志	演習
17	2	パーソナリティ障害についての講義	依積田 大志	講義
18	2	ASDについてのQ&A作成	常田 つかさ	演習
19	2	ASDについての講義	常田 つかさ	講義
20	2	ADHD、LDIについてのQ&A作成	依積田 大志	演習
21	2	ADHD、LDIについての講義	依積田 大志	講義
22	2	解離性障害についてのQ&A作成	常田 つかさ	演習
23	2	解離性障害についての講義	常田 つかさ	講義
24	2	PTSDについてのQ&A作成	依積田 大志	演習
25	2	PTSDについての講義	依積田 大志	講義
26	2	身体表現性障害についてのQ&A作成	常田 つかさ	演習
27	2	身体表現性障害についての講義	常田 つかさ	講義
28	2	てんかんについてのQ&A作成	依積田 大志	演習
29	2	てんかんについての講義	依積田 大志	講義
30	2	まとめ	依積田 常田	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。

全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。

教科書：標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学（医学書院）  
精神障害と作業療法 新版（三輪書店）

参考書：

その他の資料：適宜配布

担当教員から

各疾患の資料作成により、学生が主体となって学習することを期待する。

実務経験のある教員による実践的授業

作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が、統合失調症等ほかの疾患における作業療法を、実例を挙げながら説明することで、具体的なイメージを獲得しながら、自分ならどう考えアプローチするかを学生同士で議論しながら理解できるように指導する。

2年次 前期（ 2単位：30時間）

(授業概要)

前期：姿勢反射・反応とは何か、運動の発達についてその仕組みや働きを講義する。  
後期：異常を判断するための正常発達の理解、身体的のみならず認知機能の発達としての広範性発達障害、学習障害について理解する。さらに、筋ジストロフィー症についても各種タイプの理解をすすめ、作業療法としての具体的な介入方法について学ぶ。

(教育目標)

前期：姿勢反射・反応について、月齢ごとに理解すること、その役割について理解することを目的とする。その反射を基本に、身体機能の発達との関連性についても理解する。  
後期：正常発達について、月齢に沿った状態の理解ができる。広範性発達障害については、状態像の理解に加え、適切な介入方法、

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	歴史、作業療法の役割、発達障害とは何かを講義	渡 裕一	講義
2	2	発達の定義、中枢神経系の発達、系統発生を講義	渡 裕一	講義
3	2	発達の原則を講義	渡 裕一	講義
4	2	姿勢反射・反応（定義、意義、メカニズム）を講義	渡 裕一	講義
5	2	姿勢反射・反応（静的姿勢反射・反応群：原始反射）を講義	渡 裕一	講義
6	2	姿勢反射・反応（静的姿勢反射・反応群：原始反射）を講義	渡 裕一	講義
7	2	姿勢反射・反応（立ち直り反応）を講義	渡 裕一	講義
8	2	姿勢反射・反応（平衡運動反応、平衡反応）を講義	渡 裕一	講義
9	2	粗大運動の発達と反射・反応を講義	渡 裕一	講義
10	2	粗大運動の発達と反射・反応を講義	渡 裕一	講義
11	2	正常発達	渡 裕一	講義
12	2	広範性発達障害	渡 裕一	講義
13	2	学習障害	渡 裕一	講義
14	2	筋ジストロフィー	渡 裕一	講義
15	2	治療学各論	渡 裕一	講義

総括的評価

筆記試験の結果ならびに、講義受講態度など総合的に判断する。

教科書：  
標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学 （医学書院）

参考書：  
発達からみた脳性運動障害の治療

その他の資料：  
乳幼児の運動発達検査 AIMSアルバータ乳幼児発達検査法

担当教員から

発達の障害について、身体的・知的側面から理解する。そのためにも、正常な機能や能力を再学習し、相違点の把握や分析できる専門的能力の向上を図る。

実務経験のある教員による実践的授業

作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が、発達障害における作業療法を、実例を挙げながら説明することで、具体的なイメージを獲得しながら、自分ならどう考えアプローチするかを学生同士で議論しながら理解できるように指導する。

2 年次 後期 ( 1 単位： 30 時間)

(授業概要)

身体機能、認知機能の発達について、その内容を理解し、適切な評価について学ぶ。また、発達に何らかの障害を有する者に対し、作業療法としての具体的介入方法について講義する。

(教育目標)

適切な検査の実施とその解釈、各発達の障害について、状態を解釈できること、加えて具体的な介入方法を立案し、実施することができるようになる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	姿勢反射・反応の評価と観察	渡 裕一	講義
2	2	姿勢反射・反応の評価と観察	渡 裕一	講義
3	2	自閉症、知的障害に対する評価と作業療法	渡 裕一	講義
4	2	学習障害に対する評価と作業療法	渡 裕一	講義
5	2	進行性筋ジストロフィー症に対する評価と作業療法	渡 裕一	講義
6	2	脳性麻痺児に対する作業療法評価と作業療法	渡 裕一	講義
7	2	脳性麻痺児に対する作業療法評価と作業療法～日常生活動作・食事指導の基本的考え方～	渡 裕一	講義
8	2	脳性麻痺児に対する作業療法評価と作業療法～ポジショニングとシーティングの基本的考え方～	渡 裕一	講義
9	2	知的障害・自閉症・学習障害に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義
10	2	知的障害・自閉症・学習障害に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義
11	2	脳性麻痺・重度心身障害児に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義
12	2	脳性麻痺・重度心身障害児に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義
13	2	脳性麻痺・重度心身障害児に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義
14	2	脳性麻痺・重度心身障害児に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義
15	2	脳性麻痺・重度心身障害児に対する作業療法評価とOTアプローチの実際	渡 裕一	講義

総括的評価

筆記試験の結果ならびに、講義受講中の態度や課題レポート等の提出状況などより総合的に判断する。

教科書：

標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学 (医学書院)

参考書：

発達からみた脳性運動障害の治療

その他の資料：

乳幼児の運動発達検査 AIMSアルバータ乳幼児発達検査法

担当教員から

発達に障害を有する症例に対し、その具体的な介入方法などを実技を通し理解することを目標とします。

実務経験のある教員による実践的授業

作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が、発達障害における作業療法を、実例を挙げながら説明することで、具体的なイメージを獲得しながら、自分ならどう考えアプローチするかを学生同士で議論しながら理解できるように指導する。

2年次 前期・後期（2単位：60時間）

(授業概要)

・高齢化社会であることを理解し作業療法士に求められる仕事内容や関係法規を理解する。  
 ・地域で行われているリハビリ活動やサービスを知り作業療法士の地域での役割と治療について検討する。  
 ・生活行為向上マネジメントについて学ぶ。

(教育目標)

・介護保険制度について説明できる ・求められる作業療法士がイメージでき、高齢期の患者さんへの対応を知る  
 ・なぜ高齢者特有の行動や症状があるのか考える ・高齢者の特徴に合わせて継続的なリハビリは可能なのか考え説明できる  
 ・生活行為向上マネジメントの流れ、考え方を理解できる

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	老化・加齢・加齢に伴う変化①	道岡 浩樹	講義
2	2	老化・加齢・加齢に伴う変化②	道岡 浩樹	講義
3	2	生活行為向上マネジメント MTDLP①	道岡 浩樹	講義
4	2	生活行為向上マネジメント MTDLP②	道岡 浩樹	講義
5	2	生活行為向上マネジメント MTDLP 導入 ①	道岡 浩樹	講義
6	2	生活行為向上マネジメント MTDLP 導入 ②	道岡 浩樹	講義
7	2	生活行為向上マネジメント MTDLP 事例検討 パーキンソン病 ①	道岡 浩樹	講義
8	2	生活行為向上マネジメント MTDLP 事例検討 パーキンソン病 ②	道岡 浩樹	講義
9	2	生活行為向上マネジメント MTDLP インテーク ①	道岡 浩樹	講義
10	2	生活行為向上マネジメント MTDLP インテーク ②	道岡 浩樹	講義
11	2	生活行為向上マネジメント MTDLP アセスメント①	道岡 浩樹	講義
12	2	生活行為向上マネジメント MTDLP アセスメント②	道岡 浩樹	講義
13	2	生活行為向上マネジメント MTDLP プランニング①	道岡 浩樹	講義
14	2	生活行為向上マネジメント MTDLP プランニング②	道岡 浩樹	講義
15	2	高齢期作業療法 評価について①	道岡 浩樹	講義
16	2	高齢期作業療法 評価について②	道岡 浩樹	講義
17	2	高齢期作業療法 認知症について①	道岡 浩樹	講義
18	2	高齢期作業療法 認知症について②	道岡 浩樹	講義
19	2	高齢期作業療法 認知症について① 種類別にグループワーク&発表	道岡 浩樹	演習
20	2	高齢期作業療法 認知症について② 種類別にグループワーク&発表	道岡 浩樹	演習
21	2	アルツハイマー型認知症について①	道岡 浩樹	講義
22	2	アルツハイマー型認知症について②	道岡 浩樹	講義
23	2	アルツハイマー型認知症について③	道岡 浩樹	講義
24	2	アルツハイマー型認知症について④	道岡 浩樹	講義
25	2	レビー小体型認知症について①	道岡 浩樹	講義
26	2	レビー小体型認知症について②	道岡 浩樹	講義
27	2	アルツハイマー型認知症について①事例検討	道岡 浩樹	講義
28	2	アルツハイマー型認知症について②事例検討	道岡 浩樹	講義
29	2	高齢期作業療法 まとめ①	道岡 浩樹	講義
30	2	高齢期作業療法 まとめ②	道岡 浩樹	講義

総括的評価

筆記試験による評価。6割以上を合格とする。

教科書：事例で学ぶ 生活行為向上マネジメント（医歯薬出版）

参考書：標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学 第4版（医学書院）  
 標準理学療法学 作業療法学 専門基礎分野 老年学 第6版（医学書院）

その他の資料：

担当教員から

高齢者の特性や認知症について、学んでもらうその知識を踏まえて、評価や治療に活かしていく。  
 対応の仕方によって、認知症の方の症状も変化することを知ってもらおう。

実務経験のある教員による実践的授業

臨床経験のある作業療法士がアプローチの組み立てで疾患に固執せず環境に視野の幅が広がるよう促していく。核家族が増えるなかで高齢者を知る機会も減っているように思う。心理的・身体的な変化について理解を深めたくうえで社会的なサービス高齢者を取り巻く環境などを考える。

2 年次 前期 ( 2 単位： 30 時間)

(授業概要)

高次神経機能について、その症状、評価、治療を学ぶ。

(教育目標)

高次神経障害に関して、その症状などを理解し、適切な治療法を考えることができる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	高次脳機能とその発達	黒木 辰郎	講義
2	2	脳解剖と画像診断	黒木 辰郎	講義
3	2	評価と治療の流れ	黒木 辰郎	講義
4	2	注意障害	常田 つかさ	講義
5	2	記憶障害	常田 つかさ	講義
6	2	失語	常田 つかさ	講義
7	2	失行	渡 裕一	講義
8	2	失認①	渡 裕一	講義
9	2	失認②	渡 裕一	講義
10	2	半側空間無視	渡 裕一	講義
11	2	遂行機能障害	渡 裕一	講義
12	2	社会行動障害	常田 つかさ	講義
13	2	認知症の定義と分類	常田 つかさ	講義
14	2	認知症の評価	常田 つかさ	講義
15	2	認知症の治療	常田 つかさ	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学(医学書院)

参考書：

その他の資料：適宜プリントを配布します

担当教員から

生理学、解剖学の知識が必要となり、難しいと感じるかもしれませんが、分つてくると面白い分野です。頑張りましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

高次脳機能障害に対する作業療法の概要理解と臨床で行われている評価治療の実際を、作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が教授する。講義では基礎的な知識から、臨床での経験を活かした事例紹介を通した実践的治療についても教授する。

2年次 後期（2単位：40時間）

(授業概要)

- ・義肢とは何か、定義を学び、知識と技術を概説的に学ぶ。
- ・装具とは何かを言葉の成り立ちから学び、四肢・体幹の様々な装具を理解できるようにする。
- ・スプリント作製手順を理解、実施する。

(教育目標)

- ・義肢装具の役割を説明でき、使用者に対する作業療法の理念と役割と理解する。
- ・下肢装具、体幹装具、上肢装具の目的を理解する。
- ・スプリントの作製手順を理解できる。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	義肢総論（義手の歴史・義手総論①）	大迫 洋介	講義
2	2	義肢総論（義手総論②・義足総論）	大迫 洋介	講義
3	2	義手を学ぶうえで必要な医学的知識・義肢を学ぶ上で必要な医学的知識	大迫 洋介	講義
4	2	前腕切断と義手・上腕切断と義手	大迫 洋介	講義
5	2	その他の上肢切断と義手	大迫 洋介	講義
6	2	義手のチェックアウト	大迫 洋介	講義
7	2	下腿義足・大腿義足・下肢切断に対する作業療法	大迫 洋介	講義
8	2	義肢まとめ	大迫 洋介	講義
9	2	装具総論（装具に関する基礎知識・上肢装具）	大迫 洋介	講義
10	2	装具総論（下肢装具・体幹装具）	大迫 洋介	講義
11	2	疾患・障害別装具：脳卒中片麻痺	大迫 洋介	講義
12	2	疾患・障害別装具：脳性麻痺・神経難病	大迫 洋介	講義
13	2	疾患・障害別装具：手外科疾患①	大迫 洋介	講義
14	2	疾患・障害別装具：手外科疾患②	大迫 洋介	講義
15	2	疾患・障害別装具：頸髄損傷	大迫 洋介	講義
16	2	疾患・障害別装具：関節リウマチ	大迫 洋介	講義
17	2	疾患・疾患別装具：熱傷とスプリント療法	大迫 洋介	講義
18	2	装具まとめ	大迫 洋介	講義
19	2	装具の作製・スプリント製作実習①	宇都 未佑	演習
20	2	スプリント製作実習②	宇都 未佑	演習

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
 全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
 各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。  
 宇都：スプリント製作とそれに付随するレポートにて評価を行う。

教科書：作業療法学 ゴールドマスターテキスト 義肢装具学（メジカルビュー社）

参考書：標準PTOT専門基礎 整形外科学 第4版（医学書院）

その他の資料：写真で見る 基本スプリントの作り方

担当教員から

関心を持って義肢装具の知識やスプリント作成の演習に臨んで下さい

実務経験のある教員による実践的授業

上肢欠損による、上肢装具の適応や末梢神経損傷などによる神経麻痺のスプリント適応。また、上肢装具やスプリントのメンテナンスなど、パーツの名称、構造の理解を促す。作業療法士の臨床経験をもとに実践的な見地からの知識も教授する。

授業科目名：日常生活活動

担当教員： 宇都 未佑  
山下 孔明  
渡 裕一  
常田 つかさ

2年次 前期（1単位：20時間）

(授業概要)

作業療法士として日常生活活動について学ぶ。

(教育目標)

日常生活活動について理解する。  
各ADL動作と各疾患ごとのADL障害の違いについて理解する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	日常生活活動総論	宇都 未佑	講義
2	2	日常生活活動の評価、治療、理論	宇都 未佑	講義
3	2	脳血管障害のADL・支援・計画①	山下 孔明	講義
4	2	脳血管障害のADL・支援・計画②	山下 孔明	講義
5	2	脳血管障害のADL・支援・計画③	山下 孔明	講義
6	2	精神障害のADL	常田 つかさ	講義
7	2	認知症のADL	常田 つかさ	講義
8	2	発達過程のADL	渡 裕一	講義
9	2	家庭生活行為について (IADL)①	宇都 未佑	講義
10	2	家庭生活行為について (IADL)②	宇都 未佑	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院）

参考書：ADLとその周辺 評価・指導・介護の実際 第3版（医学書院）

その他参考資料：適宜配布

担当教員から

各疾患（分野）によって日常生活のしづらさは違ってきます。全ての分野共通のこと、その分野特有のことを学び、理解してください。

実務経験のある教員による実践的授業

それぞれの専門分野（臨床経験がある）の作業療法士が実例を踏まえて講義を行う。

授業科目名：日常生活活動実習

担当教員： 宇都 未佑  
山下 孔明  
渡 裕一  
後谷 直樹

2年次 前期（1単位：30時間）

(授業概要)

作業療法士として日常生活活動の工程と分析について学ぶ。

(教育目標)

日常生活活動の各ADL動作と各疾患ごとのADL障害、工程の違いについて理解する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	日常生活活動の活動分析-工程の整理と記述演習-①起居動作・移乗動作	宇都 未佑	演習
2	2	日常生活活動の活動分析-工程の整理と記述演習-②更衣・整容動作	宇都 未佑	演習
3	2	脳卒中のADL特徴①	山下 孔明	講義
4	2	脳卒中のADL特徴②動作分析と記録演習	山下 孔明	演習
5	2	脊髄損傷のADL特徴①	後谷 直樹	講義
6	2	脊髄損傷のADL特徴②動作分析と記録演習	後谷 直樹	演習
7	2	関節リウマチのADL特徴	宇都 未佑	講義
8	2	上肢切断のADL特徴	宇都 未佑	講義
9	2	下肢切断のADL特徴	宇都 未佑	講義
10	2	進行性筋ジストロフィーのADL特徴	渡 裕一	講義
11	2	パーキンソン病のADL特徴	宇都 未佑	講義
12	2	脳性麻痺のADL特徴	渡 裕一	講義
13	2	高次脳機能障害のADL特徴①	山下 孔明	講義
14	2	高次脳機能障害のADL特徴②	山下 孔明	演習
15	2	高次脳機能障害のADL特徴③	山下 孔明	演習

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通知する。

教科書：  
ADLとその周辺～評価・指導・介護の実際～（医学書院）  
標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院）

参考書：

その他の資料：適宜配布

担当教員から

各疾患の病態を理解し、それぞれのADLに関して学びを深めましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

それぞれの教員が、臨床で多く担当した疾患を担当し、実際の事例を交えて講義、演習を指導する。

2年次 後期（ 1単位：30時間）

(授業概要)

作業療法士が在宅での生活を必要とする方への関連法規や関連する仕事を理解する

(教育目標)

福祉用具の種類や選定方法を理解する  
 症例に応じた住環境整備の考え方を理解する  
 関連法規を理解する

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	福祉用具について概要を理解する	山下 孔明	講義
2	2	機器活用の実際	山下 孔明	講義
3	2	機器活用の実際（実技：PSB・スプリント）	山下 孔明	講義
4	2	起居動作関連・床ずれ防止関連、移乗関連（実技：マルチグロープ）	山下 孔明	講義
5	2	移動関連（シーティング）	山下 孔明	講義
6	2	移動関連（シーティング）	山下 孔明	演習
7	2	排泄・入浴関連関連（バスグリップ・浴槽ボード）	山下 孔明	演習
8	2	移乗関連（実技：スライディングボード・床走行リフト）	山下 孔明	演習
9	2	機器活用の実際②（電気刺激）	山下 孔明	演習
10	2	機器活用の実際②（IVES）	山下 孔明	演習
11	2	住宅改修の実際	山下 孔明	講義
12	2	住宅改修の実際（グループワーク）	山下 孔明	講義
13	2	住宅改修の実際（グループワーク）	山下 孔明	講義
14	2	住宅改修の実際（発表） 授業のまとめ	山下 孔明	講義
15	2	脳卒中片麻痺の下肢装具	山下 孔明	講義

総括的評価

定期試験（筆記試験）により評価を行う。

教科書：

参考書：ADLとその周辺 評価・指導・介護の実際 第3版

その他の資料：適宜配布する。

担当教員から

就職してから必要な知識として学生は興味を持ちやすいらしく、資格も取得したいとの意見が多く聞かれます。頑張りましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

臨床の現場で仕事をしている講師より、患者の状態に応じた機器や自助具などの処方について、講師の経験を踏まえて講義を行う。また、機器業者を招いて実際の機器を体験して理解を深めることを図る。

授業科目名：総合特論 I

担当教員： 宇都 未佑  
谷口 慶子  
渡 裕一 黒木 辰朗  
常田 つかさ 俵積田 大志

3 年次 後期 ( 4 単位 : 8 0 時間)

(授業概要)

国家試験の専門基礎分野の再学習

(教育目標)

国家試験で問われるレベルのしっかりした知識の獲得

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	国家試験の過去問題をベースにした解剖学の再学習 1	宇都 未佑	演習
2	2	国家試験の過去問題をベースにした解剖学の再学習 2	宇都 未佑	演習
3	2	国家試験の過去問題をベースにした解剖学の再学習 3	宇都 未佑	演習
4	2	国家試験の過去問題をベースにした解剖学の再学習 4	宇都 未佑	演習
5	2	国家試験の過去問題をベースにした解剖学の再学習 5	宇都 未佑	演習
6	2	国家試験の過去問題をベースにした生理学・病理学の再学習 1	宇都 未佑	演習
7	2	国家試験の過去問題をベースにした生理学・病理学の再学習 2	宇都 未佑	演習
8	2	国家試験の過去問題をベースにした生理学・病理学の再学習 3	宇都 未佑	演習
9	2	国家試験の過去問題をベースにした生理学・病理学の再学習 4	宇都 未佑	演習
10	2	国家試験の過去問題をベースにした生理学・病理学の再学習 5	宇都 未佑	演習
11	2	国家試験の過去問題をベースにした運動学の再学習 1	宇都 未佑	演習
12	2	国家試験の過去問題をベースにした運動学の再学習 2	宇都 未佑	演習
13	2	国家試験の過去問題をベースにした運動学の再学習 3	宇都 未佑	演習
14	2	国家試験の過去問題をベースにした運動学の再学習 4	宇都 未佑	演習
15	2	国家試験の過去問題をベースにした運動学の再学習 5	宇都 未佑	演習
16	2	国家試験の過去問題をベースにした人間発達学・小児科学の再学習 1	宇都 未佑	演習
17	2	国家試験の過去問題をベースにした人間発達学・小児科学の再学習 2	宇都 未佑	演習
18	2	国家試験の過去問題をベースにした人間発達学・小児科学の再学習 3	宇都 未佑	演習
19	2	国家試験の過去問題をベースにした内科学の再学習 1	宇都 未佑	演習
20	2	国家試験の過去問題をベースにした内科学の再学習 2	宇都 未佑	演習
21	2	国家試験の過去問題をベースにした内科学の再学習 3	宇都 未佑	演習
22	2	国家試験の過去問題をベースにした臨床神経医学の再学習 1	宇都 未佑	演習
23	2	国家試験の過去問題をベースにした臨床神経医学の再学習 2	宇都 未佑	演習
24	2	国家試験の過去問題をベースにした臨床神経医学の再学習 3	宇都 未佑	演習
25	2	国家試験の過去問題をベースにした臨床心理学の再学習 1	宇都 未佑	演習
26	2	国家試験の過去問題をベースにした臨床心理学の再学習 2	宇都 未佑	演習
27	2	国家試験の過去問題をベースにした臨床心理学の再学習 3	宇都 未佑	演習
28	2	国家試験の過去問題をベースにした精神医学の再学習 1	宇都 未佑	演習
29	2	国家試験の過去問題をベースにした精神医学の再学習 2	宇都 未佑	演習
30	2	国家試験の過去問題をベースにした精神医学の再学習 3	宇都 未佑	演習
31	2	国家試験の過去問題をベースにした精神医学の再学習 4	宇都 未佑	演習
32	2	国家試験の過去問題をベースにした整形外科の再学習 1	宇都 未佑	演習
33	2	国家試験の過去問題をベースにした整形外科の再学習 2	宇都 未佑	演習
34	2	国家試験の過去問題をベースにした整形外科の再学習 3	宇都 未佑	演習
35	2	国家試験の過去問題をベースにしたリハビリテーション概論の再学習 1	宇都 未佑	演習
36	2	国家試験の過去問題をベースにしたリハビリテーション概論の再学習 2	宇都 未佑	演習
37	2	国家試験の過去問題をベースにしたリハビリテーション概論の再学習 3	宇都 未佑	演習
38	2	まとめ学習 1	宇都 未佑	演習
39	2	まとめ学習 2	宇都 未佑	演習
40	2	まとめ学習 3	宇都 未佑	演習

総括的評価

2 回の試験を実施し判定します

教科書：クエスチョンバンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2026 共通問題  
クエスチョンバンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2026 専門問題

参考書：

その他の資料：国家試験や模擬試験の問題を配布します。宅ドリ。

担当教員から

3 年間の総仕上げです 頑張って結果を出して行きましょう

実務経験のある教員による実践的授業

授業科目名：総合特論Ⅱ

担当教員： 宇都 未佑  
谷口 慶子  
渡 裕一 黒木 辰朗  
常田 つかさ 俣積田 大志

3年次 後期（ 4単位： 80時間）

(授業概要)

国家試験の専門分野の再学習

(教育目標)

国家試験で問われるレベルのしっかりした知識の獲得

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	国家試験の過去問題をベースにした「作業活動」の再学習 1	宇都 未佑	演習
2	2	国家試験の過去問題をベースにした「作業活動」の再学習 2	宇都 未佑	演習
3	2	国家試験の過去問題をベースにした「作業療法概論」の再学習 1	宇都 未佑	演習
4	2	国家試験の過去問題をベースにした「作業療法概論」の再学習 2	宇都 未佑	演習
5	2	国家試験の過去問題をベースにした「評価法」の再学習 1	宇都 未佑	演習
6	2	国家試験の過去問題をベースにした「評価法」の再学習 2	宇都 未佑	演習
7	2	国家試験の過去問題をベースにした「評価法」の再学習 3	宇都 未佑	演習
8	2	国家試験の過去問題をベースにした「評価法」の再学習 4	宇都 未佑	演習
9	2	国家試験の過去問題をベースにした「ADL」の再学習 1	宇都 未佑	演習
10	2	国家試験の過去問題をベースにした「ADL」の再学習 2	宇都 未佑	演習
11	2	国家試験の過去問題をベースにした「ADL」の再学習 3	宇都 未佑	演習
12	2	国家試験の過去問題をベースにした「義肢装具」の再学習 1	宇都 未佑	演習
13	2	国家試験の過去問題をベースにした「義肢装具」の再学習 2	宇都 未佑	演習
14	2	国家試験の過去問題をベースにした「義肢装具」の再学習 3	宇都 未佑	演習
15	2	国家試験の過去問題をベースにした「老年期障害」の再学習 1	宇都 未佑	演習
16	2	国家試験の過去問題をベースにした「老年期障害」の再学習 2	宇都 未佑	演習
17	2	国家試験の過去問題をベースにした「老年期障害」の再学習 3	宇都 未佑	演習
18	2	国家試験の過去問題をベースにした「老年期障害」の再学習 4	宇都 未佑	演習
19	2	国家試験の過去問題をベースにした「脳血管障害」の再学習 1	宇都 未佑	演習
20	2	国家試験の過去問題をベースにした「脳血管障害」の再学習 2	宇都 未佑	演習
21	2	国家試験の過去問題をベースにした「脳血管障害」の再学習 3	宇都 未佑	演習
22	2	国家試験の過去問題をベースにした「脳血管障害」の再学習 4	宇都 未佑	演習
23	2	国家試験の過去問題をベースにした「神経変性・筋障害」の再学習 1	宇都 未佑	演習
24	2	国家試験の過去問題をベースにした「神経変性・筋障害」の再学習 2	宇都 未佑	演習
25	2	国家試験の過去問題をベースにした「神経変性・筋障害」の再学習 3	宇都 未佑	演習
26	2	国家試験の過去問題をベースにした「内科学」の再学習 1	宇都 未佑	演習
27	2	国家試験の過去問題をベースにした「内科学」の再学習 2	宇都 未佑	演習
28	2	国家試験の過去問題をベースにした「内科学」の再学習 3	宇都 未佑	演習
29	2	国家試験の過去問題をベースにした「脊髄損傷」の再学習 1	宇都 未佑	演習
30	2	国家試験の過去問題をベースにした「脊髄損傷」の再学習 2	宇都 未佑	演習
31	2	国家試験の過去問題をベースにした「脊髄損傷」の再学習 3	宇都 未佑	演習
32	2	国家試験の過去問題をベースにした「脊髄損傷」の再学習 4	宇都 未佑	演習
33	2	国家試験の過去問題をベースにした「RA・整形疾患」の再学習 1	宇都 未佑	演習
34	2	国家試験の過去問題をベースにした「RA・整形疾患」の再学習 2	宇都 未佑	演習
35	2	国家試験の過去問題をベースにした「精神障害」の再学習 1	宇都 未佑	演習
36	2	国家試験の過去問題をベースにした「精神障害」の再学習 2	宇都 未佑	演習
37	2	国家試験の過去問題をベースにした「精神障害」の再学習 3	宇都 未佑	演習
38	2	国家試験の過去問題をベースにした「小児科学」の再学習 1	宇都 未佑	演習
39	2	国家試験の過去問題をベースにした「小児科学」の再学習 2	宇都 未佑	演習
40	2	国家試験の過去問題をベースにした「小児科学」の再学習 3	宇都 未佑	演習

総括的評価

2回の試験を実施し判定します

教科書：クエスチョンバンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2026 共通問題  
クエスチョンバンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2026 専門問題

参考書：

その他の資料：国家試験や模擬試験の問題を配布します。宅ドリ

担当教員から

3年間の総仕上げです 頑張って結果を出して行きましょう

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 前期（1単位：20時間）

（授業概要）

・講義と演習を行いながら、職業リハビリテーションにおける作業療法を役割を理解していく。

（教育目標）

- ①職業評価の種類と特性を理解する。
- ②就労支援におけるOTの役割を説明することができる。
- ③人（対象者）にとって「仕事（職業）」とはどのような意義があるのかを説明することができる。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	職業関連活動の概要	俵積田 大志	講義
2	2	障害者と職業	俵積田 大志	講義
3	2	就労支援における作業療法の役割、関連職種との連携、対象者・実施施設	俵積田 大志	講義
4	2	作業療法評価と治療（訓練）①	俵積田 大志	講義
5	2	作業療法評価と治療（訓練）②	俵積田 大志	講義
6	2	障害別就労支援（統合失調症）	俵積田 大志	講義
7	2	障害別就労支援（統合失調症）事例検討	俵積田 大志	演習
8	2	障害別就労支援（うつ病）	俵積田 大志	講義
9	2	障害別就労支援（うつ病）事例検討	俵積田 大志	演習
10	2	障害別就労支援（身体障害）	俵積田 大志	講義
11	2	障害別就労支援（身体障害）事例検討	俵積田 大志	演習
12	2	障害別就労支援（高次脳機能障害・知的障害）	俵積田 大志	講義
13	2	障害別就労支援（高次脳機能障害・知的障害）事例検討	俵積田 大志	演習
14	2	職業分析（作業分析）	俵積田 大志	講義
15	2	症例検討	俵積田 大志	演習

総括的評価

レポート提出、筆記試験に評定する。

教科書：作業療法全書「改定第3版」第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動（協同医書出版社）

参考書：

その他の資料：

担当教員から

国試対策として、評価の種類と特性の理解を深めていきましょう。作業療法士が就労支援の場でどのように介入することができるのかを事例検討などとおして、議論できるスキルも身に付けていきましょう。

実務経験のある教員による実践的授業

実務経験のある教員が講義・演習を通して職業関連活動についての経験や知識を教授する。

授業科目名：地域作業療法学

担当教員： 谷口慶子  
山下孔明／橋口久仁子

2年次 後期（2単位：30時間）

(授業概要)

- ・地域における作業療法士と多職種について理解を深める。
- ・地域で生活する対象者に対する介入方法や支援の仕方を学ぶ。

(教育目標)

- ・地元に興味を持ちその土地の特徴を知る
- ・サービス内容の理解と症例さんに必要なことを考えどう提供していくか検討する
- ・サービス利用の説明ができる

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	地域作業療法 総論	谷口慶子	講義
2	2	地域作業療法を支える制度・社会生活支援・連携	谷口慶子	講義
3	2	地域作業療法の実践 評価と視点	谷口慶子	講義
4	2	支援プログラムとマネジメントを学ぶ	谷口慶子	講義
5	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例①病院（精神機能領域）	谷口慶子	講義
6	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例②診療所（クリニック）・介護老人保健施設	谷口慶子	講義
7	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例③通所介護施設（デイサービスセンター） 介護老人保健施設（特別養護老人ホーム）	谷口慶子	講義
8	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例④発達支援・教育 （特別支援学校・放課後等デイサービス）	谷口慶子	講義
9	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例⑤地域生活移行（精神障害者の地域生活支援）	谷口慶子	講義
10	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例⑥就労支援（高次脳機能障害）	橋口 久仁子	講義
11	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例⑦就労支援（高次脳機能障害）	橋口 久仁子	講義
12	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例病院（身体機能領域）	山下孔明	講義
13	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例（訪問作業療法・通所リハビリテーション）	山下孔明	講義
14	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例（地域包括支援センター）	山下孔明	講義
15	2	地域作業療法の実践の場を知る・実践例（介護予防事業）	山下孔明	講義

総括的評価

それぞれの教員の担当授業数×10点を、その担当教員の評価点数（内訳は各教員によって異なる）とする。  
全担当教員の評価点数を総合し、総得点の6割以上を合格とする。  
各教員の点数の内訳に関しては、それぞれ学生に通達する。

教科書：地域作業療法学 第4版 医学書院

参考書：

その他の資料：

担当教員から

作業療法士の職種は病院だけでなく地域へ広がっている。地域での作業療法士の役割について学ぶことで、対象者へどのような医療を提供するか幅も広がっていく。外来講師も招き、現場の話も聞けるため、より興味を引く内容になると思う。

実務経験のある教員による実践的授業

作業療法における治療の概要理解と臨床で行われている治療の実際を、作業療法士としての臨床経験を持つ担当教員が教授する。講義では基礎的な知識から、臨床での経験を活かした実践的治療についても教授する。

1年次 前期（1単位：30時間）

（授業概要）

安全・安楽な動作とはどんな介助が必要であるのかを知り人の正常な動きとバイオメカニクスを理解し支援につなげる。

（教育目標）

- ・安全を第一とし、全介助でなく能力を引き出す介助方法の習得。
- ・基本動作、三角巾、歩行介助、更衣動作介助方法の理解と習得。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1	2	介護技術とは？介護とリハビリの違いについて説明する。	宇都 未佑	講義
2	2	起居動作の理解や介助方法	宇都 未佑	演習
3	2	起居動作の理解や介助方法	宇都 未佑	演習
4	2	車いす操作について・車いすの名称（小テスト）	宇都 未佑	演習
5	2	車いす移乗（全介助・一部介助）	宇都 未佑	演習
6	2	三角巾や間代の介助方法について	宇都 未佑	演習
7	2	三角巾や間代の介助方法について	宇都 未佑	演習
8	2	褥瘡予防と体位変換について	宇都 未佑	演習
9	2	起居動作・車いす操作・三角巾の支援方法を練習	宇都 未佑	演習
10	2	起居動作・車いす操作・三角巾の支援方法を練習	宇都 未佑	演習
11	2	起居動作・車いす操作・三角巾の支援方法を練習	宇都 未佑	演習
12	2	起居動作・車いす操作・三角巾の支援方法を練習	宇都 未佑	演習
13	2	高齢者体験キットにより動きにくさを経験する	宇都 未佑	演習
14	2	症例を通じて支援方法を検討する	宇都 未佑	演習
15	2	症例を通じて支援方法を検討する	宇都 未佑	演習

総括的評価

上記各項目の実技テスト50点と筆記試験50点にて6割で合格とする。

教科書：プリント スライド使用

参考書：絵で見る介護 介助にいかすバイオメカニクス わかりやすい移動の仕方

その他の資料：

担当教員から

介護技術を基礎とし、介助者側の負担軽減と患者様の安全性と能力開発(リハビリ要素)を含んだ介護技術を学んでいきます。その他、車椅子操作や臨床で使える知識技術の練習も行います。

実務経験のある教員による実践的授業

実務経験のある教員が演習を通して介護技術についての経験や知識を教授する。

1年次 前期・後期（ 1単位：45時間）

(授業概要)

近隣の医療施設などにおもむき、リハビリテーションスタッフの職場環境、作業療法士や他の医療従事者とのかかわりについて学び、自分の目指す作業療法士像のイメージをつくることを目標とする。

(教育目標)

- ① 作業療法の実際を“見学・体験”学習する。
- ② 作業療法士としての1日の業務の流れを学習する。
- ③ 医療人としての良識ある行動を学ぶ。
- ④ リスク管理について学ぶ。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1 日 目	8	見学実習（身体機能分野）	俵積田 大志	実習
2 日 目	8	見学実習（身体機能分野）	俵積田 大志	実習
3 日 目	8	見学実習（身体機能分野）	俵積田 大志	実習
4 日 目	8	見学実習（精神機能分野）	俵積田 大志	実習
5 日 目	8	見学実習（精神機能分野）	俵積田 大志	実習
6 日 目	8	見学実習（精神機能分野）	俵積田 大志	実習

総括的評価

実習指導者評定、提出物の提出状況によって評価を行う。

教科書：実習の手引き

参考書：

その他の資料：

担当教員から

失礼のないように身だしなみや言動には十分気をつけること。患者様に誠意をもって接することを心がけてほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 後期（1単位：45時間）

(授業概要)

近隣の医療施設などにおもむき、リハビリテーションスタッフの職場環境、作業療法士や他の医療従事者とのかかわりについて学び、自分の目指す作業療法士像のイメージをつくることを目標とする。

(教育目標)

- ① 作業療法の実際を“見学・体験”学習する。
- ② 作業療法士としての1日の業務の流れを学習する。
- ③ 医療人としての良識ある行動を学ぶ。
- ④ リスク管理について学ぶ。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1日	8	見学実習（地域リハ分野）	常田つかさ	実習
2日	8	見学実習（地域リハ分野）	常田つかさ	実習
3日	8	見学実習（地域リハ分野）	常田つかさ	実習
4日	8	見学実習（地域リハ分野）	常田つかさ	実習
5日	8	見学実習（地域リハ分野）	常田つかさ	実習

総括的評価

実習指導者評定、提出物の提出状況によって評価を行う。

教科書：実習の手引き

参考書：

その他の資料：

担当教員から

失礼のないように身だしなみや言動には十分気をつけること。患者様に誠意をもって接することを心がけてほしい。

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 後期（4単位：180時間）

（授業概要）

学生毎に身体機能分野の医療機関に赴き、臨床実習指導者のもと、症例に即した評価方法の選択、評価手技の実施を行い、評価をもとに抽出された問題点から障害象を把握する過程を学ぶことを目的としている。

（教育目標）

- 1) 臨床での経験を通じて、学校で学んだ知識・技術の統合に努め、作業療法士に必要な臨床的評価技術を身につける。
- 2) 作業療法の役割を認識する。
- 3) 医療人としての基本的な態度を身に付けると共に、対者の人権を保護することの重要性を学ぶ。
- 4) 対象者への評価体験を通して、自己の認識を深め、生涯を通しての自己啓発への持続的な努力の必要性を実感する。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1 週 目	45	評価実習（身体機能分野）	常田つかさ	実習
2 週 目	45	評価実習（身体機能分野）	常田つかさ	実習
3 週 目	45	評価実習（身体機能分野）	常田つかさ	実習
4 週 目	45	評価実習（身体機能分野）	常田つかさ	実習

総括的評価

デイリーレポート、感想レポート、評価レポート、実習指導者評定、実習後セミナーで総合的に評価する。

教科書：・作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学  
 ・標準整形外科学 第13版 ・脳卒中最前線 ・ADLとその周辺 ～評価・指導・介護の実際～

参考書：

その他の資料：

担当教員から

現場の先生方、患者様は善意でご協力して下さっています。失礼のないように身だしなみ言動には十分気をつけてください。

実務経験のある教員による実践的授業

2年次 後期（4単位：180時間）

（授業概要）

学生毎に 精神機能分野の医療機関に赴き、臨床実習指導者のもと、症例に即した評価方法の選択、評価手技の実施を行い、評価をもとに抽出された問題点から障害象を把握する過程を学ぶことを目的としている。

（教育目標）

- 1) 臨床での経験を通じて、学校で学んだ知識・技術の統合に努め、作業療法士に必要な臨床的評価技術を身につける。
- 2) 作業療法の役割を認識する。
- 3) 医療人としての基本的な態度を身に付けると共に、対者の人権を保護することの重要性を学ぶ。
- 4) 対象者への評価体験を通して、自己の認識を深め、生涯を通しての自己啓発への持続的な努力の必要性を実感する。

（授業計画）

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1 週 目	45	評価実習（精神機能分野）	常田つかさ	実習
2 週 目	45	評価実習（精神機能分野）	常田つかさ	実習
3 週 目	45	評価実習（精神機能分野）	常田つかさ	実習
4 週 目	45	評価実習（精神機能分野）	常田つかさ	実習

総括的評価

デイリーレポート、感想レポート、評価レポート、実習指導者評定、実習後セミナーで総合的に評価する。

教科書：精神障害と作業療法 新版

参考書：つくる・あそぶを治療にいかす作業活動実習マニュアル

その他の資料：

担当教員から

現場の先生方、患者様は善意でご協力して下さっています。失礼のないように身だしなみ言動には十分気をつけてください。

実務経験のある教員による実践的授業

3年次 前期（ 8単位：360時間）

(授業概要)

患者を適切に評価、統合解釈、問題を把握し、その問題に応じた作業療法プログラムを設定し、実施する。さらに、再評価により治療効果を科学的に検討し、より良い治療法を選択できる能力を高める。また、作業療法の社会的役割とチームワークの重要性、倫理的、法的責任を理解し、作業療法実施上の総合的能力を高める。

(教育目標)

- 1) 臨床での経験を通じて、学校で学んだ知識・技術の統合に努め、作業療法士に必要な臨床的評価、治療技術を身につける。
- 2) 作業療法の役割を認識する。
- 3) 医療人としての基本的な態度を身に付けると共に、対者の人権を保護することの重要性を学ぶ。
- 4) 症例への評価、治療体験を通じて、自己の認識を深め、生涯を通しての自己啓発への持続的な努力の必要性を実感する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
2 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
3 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
4 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
5 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
6 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
7 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習
8 週 目	45	臨床実習（身体機能分野）	宇都 未佑	実習

総括的評価

デイリーレポート、感想レポート、評価レポート、実習指導者評定、実習後セミナーで総合的に評価する。

教科書：

標準OT専門 身体機能作業療法学(医学書院 デジタル教科書) 標準OT専門 作業療法評価学(医学書院 デジタル教科書)

参考書：・標準整形外科学 第13版 ・脳卒中最前線 ・ADLとその周辺 ～評価・指導・介護の実際～

その他の資料：

担当教員から

現場の先生方、患者様は善意でご協力して下さっています。失礼のないように身だしなみ言動には十分気をつけてください。

実務経験のある教員による実践的授業

3年次 前期（ 8単位：360時間）

(授業概要)

患者を適切に評価、統合解釈、問題を把握し、その問題に応じた作業療法プログラムを設定し、実施する。さらに、再評価により治療効果を科学的に検討し、より良い治療法を選択できる能力を高める。また、作業療法の社会的役割とチームワークの重要性、倫理的、法的責任を理解し、作業療法実施上の総合的能力を高める。

(教育目標)

- 1) 臨床での経験を通じて、学校で学んだ知識・技術の統合に努め、作業療法士に必要な臨床的評価、治療技術を身につける。
- 2) 作業療法の役割を認識する。
- 3) 医療人としての基本的な態度を身に付けると共に、対者の人権を保護することの重要性を学ぶ。
- 4) 症例への評価、治療体験を通して、自己の認識を深め、生涯を通しての自己啓発への持続的な努力の必要性を実感する。

(授業計画)

回	時間	授業内容	担当教員	教授・学習法
1 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
2 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
3 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
4 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
5 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
6 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
7 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習
8 週 目	45	臨床実習（精神機能分野）	宇都 未佑	実習

総括的評価

デイリーレポート、感想レポート、評価レポート、実習指導者評定、実習後セミナーで総合的に評価する。

教科書：精神障害と作業療法 新版

参考書：

その他の資料：

担当教員から

現場の先生方、患者様は善意でご協力して下さいます。失礼のないように身だしなみ言動には十分気をつけてください。

実務経験のある教員による実践的授業